



## 平成30年度

# 学位授与申請書類

### ●電子申請

申請時期	受付期間
4月期申請	○ データ入力 平成30年3月13日(火)～平成30年4月6日(金) (最終日は17時までに送信完了) ○ 書類送付 平成30年4月1日(日)～平成30年4月7日(土) (最終日は当日消印有効)
10月期申請	○ データ入力 平成30年9月11日(火)～平成30年10月4日(木) (最終日は17時までに送信完了) ○ 書類送付 平成30年9月25日(火)～平成30年10月5日(金) (最終日は当日消印有効)

### ●郵送申請※

申請時期	受付期間
4月期申請	○ 書類送付 平成30年4月1日(日)～平成30年4月7日(土) (最終日は当日消印有効)
10月期申請	○ 書類送付 平成30年9月25日(火)～平成30年10月5日(金) (最終日は当日消印有効)

※次年度(2019年度)より原則として電子申請のみとなります。

- ◆ 学位審査手数料の払込期限とは異なりますので注意してください。(巻末参照)
- ◆ 申請にあたっては、この冊子とあわせて『新しい学士への途－学位授与申請案内 平成30年度版－』を必ず読んでください。
- ◆ 申請書類を当機構に郵送する際には、申請書類チェックリスト(巻頭参照)を同封してください。チェックリストは、「基礎資格を有する者」の区分などによって7種類あります。  
必ずご自身に該当する区分のチェックリストを使用してください。(→p. iii)

### <専門学校修了者の方へ>

ご自身に該当しない区分のチェックリストを使用するなどにより、「基礎資格を有する者」に該当することの証明書の提出がなく、申請書類を受理することが出来ないケースが生じています。不明な点は事前に当機構までお問い合わせください。



独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

## まえがき

この冊子は、学位授与申請書類の記入上の注意と申請書類等（平成30年度）の各様式をとじたものです。学位授与申請の際にご利用ください。また、申請にあたっては、この冊子とあわせて『新しい学士への途－学位授与申請案内 平成30年度版－』を必ず読んでください。

申請にあたっては、インターネットを利用した「電子申請」で行ってください。ただし、電子申請の場合であっても、証明書類や学修成果等の必要書類は、別途、期限までに当機構に郵送（書留）する必要があります。

また、電子申請を行えない場合には、原則として、平成30年度までは、申請書類を期限までに当機構に郵送（書留）する「郵送申請」で行うこともできます。

なお、ネットワーク障害やパソコンの故障等により電子申請の受付期間内に申請（データを送信）できない場合も、郵送申請で行ってください。

以下の様式については、「4月期申請用」と「10月期申請用」の2種類がありますので、ご注意ください。

○ 学位授与申請書（郵送申請用）

○ 受験票・写真票・到着お知らせはがき

※ 4月期申請用の様式は“緑色入り”であり、10月期申請用（白色）と区別しています。

記載中の「➡学士への途 p.○」は『新しい学士への途－学位授与申請案内 平成30年度版－』の参照ページを示したものです。

## 個人情報の取扱い

学位授与申請に係る個人情報は、学位授与の審査に利用されるほか、学位授与事業のための調査・研究の資料として利用されます。調査・研究結果の公表などに際しては、個人が特定されないよう取り扱います。

## ウェブサイトのリニューアルについて

当機構ウェブサイトについては平成30年4月1日よりリニューアルを予定しています。これに伴う関連URLの変更等につきましては、別途ウェブサイトにてお知らせします。本誌内のURLについては平成30年2月時点のものとなっています。

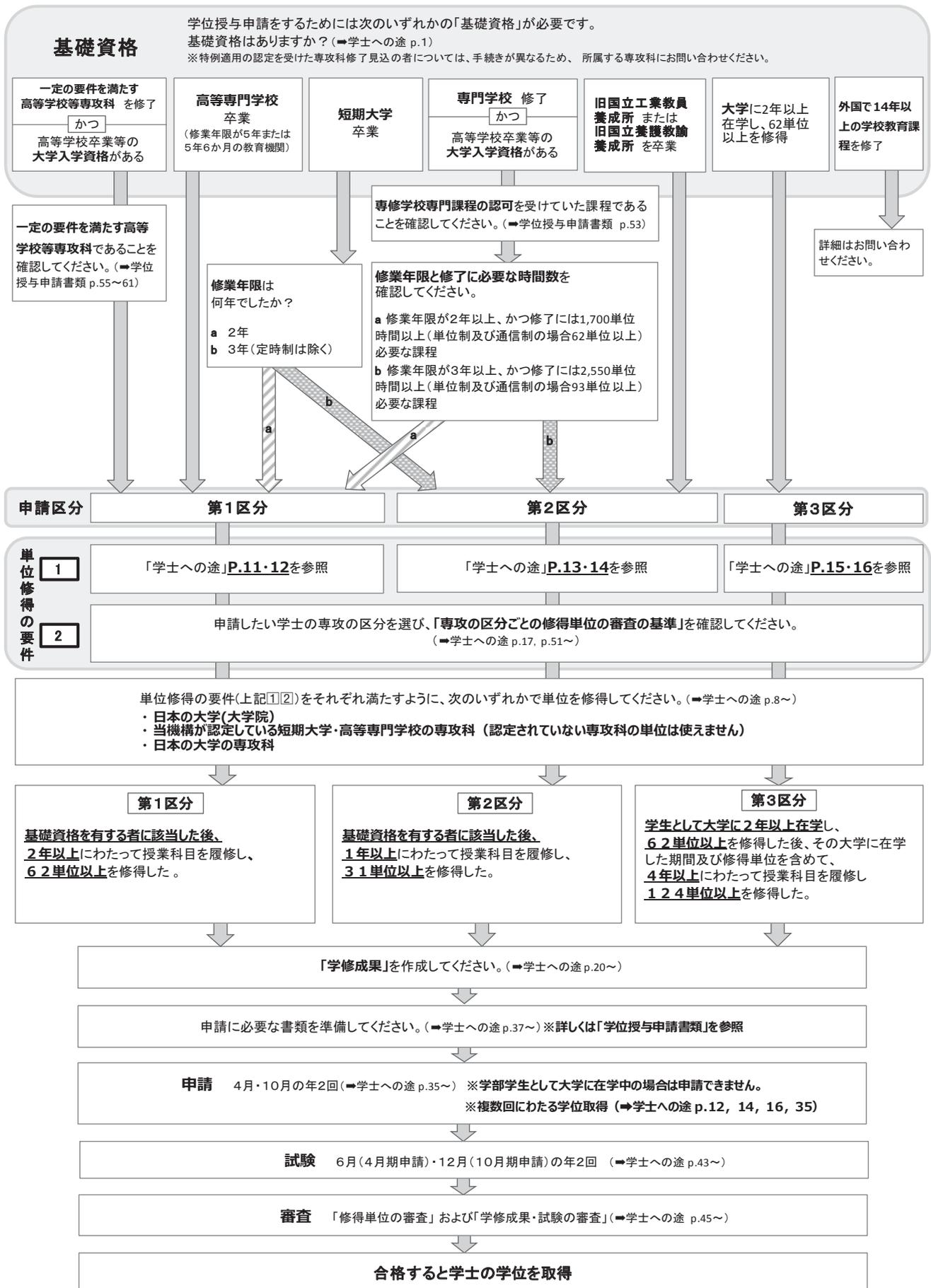
## <申請までの流れ>

- 1：下記の「審査スケジュール」を確認してください。
- 2：該当するチェックリストを選択し、申請に必要な書類を確認してください。
- 3：申請方法（電子申請・郵送申請）を選択し、申請に必要な書類を準備してください。
- 4：該当するチェックリストで申請に必要な書類がそろっていることを確認の上、当機構に郵送（書留）してください。

### 「審査スケジュール」

平成 30 年度		申請者	当機構
4 月期	10 月期		
2018 年 3 月	2018 年 9 月	<b>学位審査手数料の払込み</b> （電子・郵送申請） （ 4 月期：3 月 1 日（木）～4 月 7 日（土） 10 月期：9 月 1 日（土）～10 月 5 日（金） ）  <b>データ入力</b> （電子申請のみ） （ 4 月期：3 月 13 日（火）～4 月 6 日（金） 10 月期：9 月 11 日（火）～10 月 4 日（木） ※両時期とも最終日は 17 時まで送信完了 ）	
4 月	10 月	<b>申請書類等の送付</b> （電子・郵送申請） （ 4 月期：4 月 1 日（日）～4 月 7 日（土） 10 月期：9 月 25 日（火）～10 月 5 日（金） ※両時期とも最終日は当日消印有効 ）	<b>申請書類等の受付</b>
4 月中旬 まで	10 月中旬 まで	到着お知らせはがき受領	到着お知らせはがき送付
5 月下旬	11 月下旬	受験票受領	受験票送付 ※受験票送付をもって、申請受理とさせていただきます。
6 月	12 月	<b>学位授与試験の受験</b> （ 4 月期：6 月 10 日（日）小論文・面接 10 月期：12 月 9 日（日）面接 : 12 月 16 日（日）小論文 ）	学位授与試験の実施
9 月下旬 まで	2019 年 3 月下旬 まで	可否通知受領 合格者は学位記等受領	可否通知送付、 合格者への学位記・ 付随資料の送付  ※見込申請者の場合、申告した単位の修得が確認できる「単位修得証明書」を受領後、合格者に対し学位記等を送付
以降	以降	<b>学位記等受領書送付</b>	<b>学位記等受領書確認</b>

# 学士の学位を取得するまで(概略図)



## ご自身に該当する「申請書類チェックリスト」を選択してください。

- (1) 申請に必要な提出物は、「基礎資格を有する者の区分」によって異なります。  
誤ったチェックリストを使用すると、申請に必要な書類が足りず、受理できない場合がある  
 ので注意してください。  
 チェックリストは、以下の7種類があります。

記号	基礎資格を有する者の区分など
I	<p><b>短期大学・高等専門学校等卒業者</b></p> <p><b>例</b> ○○短期大学△△学科 卒業                  □□高等専門学校△△学科 卒業                  (→学士への途 p. 10, 11~12 または 13~14)</p> <p><b>注意</b> 高等専門学校とは、卒業時に「準学士」の称号が授与される修業年限が<u>5年(または5年6か月)の教育機関</u>です。                  ※ 「高等専門学校」には、看護・医療系の教育課程はございません。</p>
II	<p><b>専門学校修了者</b></p> <p><b>例</b> ○○専門学校○○専門課程△△学科 修了                  (→学士への途 p. 10, 11~12 または 13~14)</p> <p><b>注意</b> 当機構指定の「専修学校専門課程修了等証明書」(→巻末 p. 53)の発行が必須になります。</p>
III	<p><b>一定の要件を満たす高等学校等専攻科修了者</b></p> <p><b>例</b> ○○高等学校△△専攻科 修了                  (→学士への途 p. 10, 11~12)</p> <p><b>注意</b> 当機構指定の様式の「高等学校等専攻科修了証明書」及び「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト(→巻末 p. 55~61)が発行できない場合、申請できません。</p>
IV	<p><b>大学の学生として2年以上在学し62単位以上を修得した者</b></p> <p><b>例</b> ○○大学△△学部で62単位以上を修得し3年次に退学                  (→学士への途 p. 10, 15~16)</p> <p><b>注意</b> 専門学校を修了し、大学に編入学・卒業した方は、このIVではなく、原則としてII「専門学校修了者」に該当します。不明な点は事前に当機構までお問い合わせください。</p>
V	<p><b>外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者</b></p> <p><b>注意</b> 外国の大学等を基礎資格とする場合は事前に確認が必要になりますので、当機構にお問い合わせください。</p>
VI	<p><b>【再申請】前回申請時の判定結果：修得単位の審査が「不可」の場合</b></p> <p><b>注意</b> 再申請については、『新しい学士への途』(→p. 48~50)を必ず参照してください。</p>
VII	<p><b>【再申請】前回申請時の判定結果：学修成果・試験の審査が「不可」の場合</b></p> <p><b>注意</b> 再申請については、『新しい学士への途』(→p. 48~50)を必ず参照してください。</p>

- (2) 様式右上の記号等を確認し、該当したチェックリストを1枚切り離して使用してください。申請に必要な書類が揃っているか、必ずチェック欄を用いて確認してください。

必ず確認

✓や○でチェックを行ってください。

このチェックリストは、申請書類と一緒に封筒に入れてください。■

I

**【第1・2区分】** 基礎資格を有する者の区分:短期大学・高等専門学校等卒業者  
**申請書類チェックリスト (平成30年度)**

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄	申請に必要な書類等	※(事務欄)
	電子 郵送		
①学位授与申請書	✓	電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある (※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷)	
	✓	(郵送申請の場合) 4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
	✓	大学の学部学生として現に在学していない (※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。)	
②学位審査手数料受付証明書	✓	受付局日附印が押印されている	
	✓	①の学位授与申請書に糊付けしている	
③「基礎資格を有する者」に該当することの証明書	✓	短期大学または高等専門学校*の卒業証明書 <sup>※2</sup> がある *高等専門学校とは、卒業時に「準学士」の称号が授与される、5年(商船に関する学科は5年6か月)の教育機関です。 <sup>※2</sup> 短期大学または高等専門学校の専攻科の修了証明書は該当しません。	

- (3) 使用したチェックリストは、チェックリストの全ての欄にチェックがついたことを確認し、右下の署名欄に氏名を記入の上、申請書類を入れた封筒に同封し、当機構に郵送してください。

⑨受験票・写真票・到着お知らせはがき	✓		4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
	✓		受験票及び写真票の太枠内に必要事項を記入している	
	✓		写真は受験票・写真票ともに同一のものを使用し、「専攻の区分」「氏名」を裏書きした上で糊付けしている	
	✓		到着お知らせはがきに返信先を記入している	
⑩大学の学生として現に在学していないことの証明書	該当者のみ	該当者のみ	【大学の学生として大学に入学(編入学)をした者のみ】 大学の卒業(退学)証明書または在学期間証明書があるもしくは、単位修得証明書に入学・卒業(または退学)年月日が記載されている	
⑪短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込証明書	該当者のみ	該当者のみ	【専攻科修了見込みでの申請を行う者のみ】 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込証明書がある	

署名 小平 花子

全ての欄にチェックが入ったら署名してください!

必ず記入

■このチェックリストは、申請書類と一緒に封筒に入れてください。■

I

【第1・2区分】

基礎資格を有する者の区分:短期大学・高等専門学校等卒業者

申請書類チェックリスト(平成30年度)

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に  
 合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄		申請に必要な書類等	※ (事務欄)
	電子	郵送		
①学位授与申請書			電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある (※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷)	
			(郵送申請の場合) 4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			大学の学部学生として現に在学していない (※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。)	
			氏名を自筆・楷書で丁寧に記入している	
②学位審査手数料 受付証明書			受付局日附印が押印されている	
			①の学位授与申請書に糊付けしている	
③「基礎資格を有する者」に該当することの証明書			短期大学または高等専門学校*の卒業証明書*2がある *高等専門学校とは、卒業時に「準学士」の称号が授与される、5年(商船に関する学科は5年6か月)の教育機関です。 *2短期大学または高等専門学校の専攻科の修了証明書は該当しません。	
④単位修得状況等 申告書(総括表、 内訳表1~3)			(郵送申請の場合) 単位修得状況等申告書(総括表、内訳表1~3)がある また、内訳表1~3については、それぞれ枚数がすべて揃っている ※電子申請の場合はインターネットを介して送信されますので、郵送は不要です。	
			(郵送申請の場合) 「専攻に係る授業科目の区分」が「新しい学士への途」のp.51~119にある「専攻に係る授業科目の区分」の名称もしくは「学位授与申請書類」のp.27(4)①にある省略例に沿っている	
⑤単位修得証明書 (成績証明書)			申告する単位を修得した機関すべての単位修得証明書(学校印あり)がある (※放送大学の「単位修得状況一覧(単位認定書)」は使用できません。)	
⑥学修成果(レポート または作品等)			「新しい学士への途」の「③「学修成果」の作成」に沿って、倫理的配慮に留意して作成している	
			提出部数が5部(専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の場合は、提出形態により5枚、5本、5セット)ある	
⑦学修成果の要旨 または説明書			要旨または説明書が5部(専攻の区分「美術」「演劇」で学修成果を「作品」とする場合は、作品ごとに5部)ある	
⑧住民票			申請前3か月以内に発行され、公印(市区町村印)がある	
			社会保障・税番号制度に基づくマイナンバー(個人番号)が記載されていない	
⑨受験票・写真票・ 到着お知らせはがき			4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			受験票及び写真票の太枠内に必要事項を記入している	
			写真は受験票・写真票ともに同一のものを使用し、「専攻の区分」「氏名」を裏書きした上で糊付けしている	
			到着お知らせはがきに返信先を記入している	
⑩大学の学生として 現に在学していない ことの証明書	該当者のみ	該当者のみ	【大学の学生として大学に入学(編入学)をした者のみ】 大学の卒業(退学)証明書または在学期間証明書がある もしくは、単位修得証明書に入学・卒業(または退学)年月日が記載されている	
⑪短期大学または高 等専門学校の専攻科 修了見込証明書	該当者のみ	該当者のみ	【専攻科修了見込みでの申請を行う者のみ】 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込証明書がある	

署名\_\_\_\_\_

全ての欄にチェックが入ったら署名してください↑



■このチェックリストは、申請書類と一緒に封筒に入れてください。■



【第1・2区分】

基礎資格を有する者の区分: 専門学校修了者

申請書類チェックリスト(平成30年度)

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に  
合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄		申請に必要な書類等	※ (事務欄)
	電子	郵送		
①学位授与申請書			電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある (※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷)	
			(郵送申請の場合) 4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
②学位審査手数料 受付証明書			大学の学部学生として現に在学していない (※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。)	
			氏名を自筆・楷書で丁寧に記入している	
③「基礎資格を有する者」に該当することの証明書			受付局日附印が押印されている	
			①の学位授与申請書に糊付けしている	
④単位修得状況等 申告書(総括表、 内訳表1~3)			機構指定の「専修学校専門課程修了等証明書」がある	
			高校の卒業証明書等、大学入学資格を証明する書類がある (高校卒業証書のコピーは不可。証明書が必要になります。)	
⑤単位修得証明書 (成績証明書)			(郵送申請の場合) 単位修得状況等申告書(総括表、内訳表1~3)がある また、内訳表1~3については、それぞれ枚数がすべて揃っている ※電子申請の場合はインターネットを介して送信されますので、郵送は不要です。	
			(郵送申請の場合) 「専攻に係る授業科目の区分」が「新しい学士への途」のp.51~119にある「専攻に係る授業科目の区分」の名称もしくは「学位授与申請書類」のp.27(4)①にある省略例に沿っている	
⑥学修成果(レポート または作品等)			申告する単位を修得した機関すべての単位修得証明書(学校印あり)がある (※放送大学の「単位修得状況一覧(単位認定書)」は使用できません。)	
			専門学校の単位修得証明書について、単位数表記となっている もしくは、授業時数を単位数に換算したもの及び換算基準を添付している	
⑦学修成果の要旨 または説明書			「新しい学士への途」の「③「学修成果」の作成」に沿って、倫理的配慮に留意して作成している	
			提出部数が5部(専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の場合は、提出形態により5枚、5本、5セット)ある	
⑧住民票			要旨または説明書が5部(専攻の区分「美術」「演劇」で学修成果を「作品」とする場合は、作品ごとに5部)ある	
			申請前3か月以内に発行され、公印(市区町村印)がある	
⑨受験票・写真票・ 到着お知らせはがき			社会保障・税番号制度に基づくマイナンバー(個人番号)が記載されていない	
			4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			受験票及び写真票の太枠内に必要事項を記入している	
			写真は受験票・写真票ともに同一のものを使用し、「専攻の区分」「氏名」を裏書きした上で糊付けしている	
⑩大学の学生として 現に在学していない ことの証明書	該当者のみ	該当者のみ	到着お知らせはがきに返信先を記入している	
			【大学の学生として大学に入学(編入学)をした者のみ】 大学の卒業(退学)証明書または在学期間証明書がある もしくは、単位修得証明書に入学・卒業(または退学)年月日が記載されている	
⑪短期大学または高等 専門学校の専攻科 修了見込証明書	該当者のみ	該当者のみ	【専攻科修了見込みでの申請を行う者のみ】 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込証明書がある	

署名 \_\_\_\_\_

全ての欄にチェックが入ったら署名してください↑



【第1区分】

基礎資格を有する者の区分：一定の要件を満たす高等学校等専攻科修了者  
申請書類チェックリスト(平成30年度)

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に  
合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄		申請に必要な書類等	※ (事務欄)
	電子	郵送		
①学位授与申請書	/		電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある (※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷)	
			(郵送申請の場合) 4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			大学の学部学生として現に在学していない (※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。)	
			氏名を自筆・楷書で丁寧に記入している	
②学位審査手数料 受付証明書	/		受付局日附印が押印されている	
			①の学位授与申請書に糊付けしている	
③「基礎資格を有する者」に該当することの証明書	/		機構指定の「高等学校等専攻科修了証明書」がある	
			機構指定の「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリストがある	
			高校の卒業証明書等、大学入学資格を証明する書類がある (高校卒業証書のコピーは不可。証明書が必要になります。)	
④単位修得状況等 申告書(総括表、 内訳表1~3)	/		(郵送申請の場合) 単位修得状況等申告書(総括表、内訳表1~3)がある また、内訳表1~3については、それぞれ枚数がすべて揃っている ※電子申請の場合はインターネットを介して送信されますので、郵送は不要です。	
			(郵送申請の場合) 「専攻に係る授業科目の区分」が「新しい学士への途」のp.51~119にある「専攻に係る授業科目の区分」の名称もしくは「学位授与申請書類」のp.27(4)①にある省略例に沿っている	
⑤単位修得証明書 (成績証明書)	/		申告する単位を修得した機関すべての単位修得証明書(学校印あり)がある (※放送大学の「単位修得状況一覧(単位認定書)」は使用できません。)	
⑥学修成果(レポート または作品等)	/		「新しい学士への途」の「⑤「学修成果」の作成」に沿って、倫理的配慮に留意して作成している	
			提出部数が5部(専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の場合は、提出形態により5枚、5本、5セット)ある	
⑦学修成果の要旨 または説明書	/		要旨または説明書が5部(専攻の区分「美術」「演劇」で学修成果を「作品」とする場合は、作品ごとに5部)ある	
⑧住民票	/		申請前3か月以内に発行され、公印(市区町村印)がある	
			社会保障・番号制度に基づくマイナンバー(個人番号)が記載されていない	
⑨受験票・写真票・ 到着お知らせはがき	/		4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			受験票及び写真票の太枠内に必要事項を記入している	
			写真は受験票・写真票ともに同一のものを使用し、「専攻の区分」「氏名」を裏書きした上で糊付けしている	
		到着お知らせはがきに返信先を記入している		
⑩大学の学生として 現に在学していない ことの証明書	該当者のみ	該当者のみ	【大学の学生として大学に入学(編入学)をした者のみ】 大学の卒業(退学)証明書または在学期間証明書がある もしくは、単位修得証明書に入学・卒業(または退学)年月日が記載されている	
⑪短期大学または高等 専門学校専攻科 修了見込証明書	該当者のみ	該当者のみ	【専攻科修了見込みでの申請を行う者のみ】 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込証明書がある	

署名 \_\_\_\_\_

全ての欄にチェックが入ったら署名してください↑



■このチェックリストは、申請書類と一緒に封筒に入れてください。■

【第3区分】

基礎資格を有する者の区分:  
大学の学生として2年以上在学し62単位以上を修得した者

申請書類チェックリスト(平成30年度)

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に  
合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄		申請に必要な書類等	※ (事務欄)
	電子	郵送		
①学位授与申請書	/		電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある (※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷)	
			(郵送申請の場合) 4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			大学の学部学生として現に在学していない (※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。)	
			氏名を自筆・楷書で丁寧に記入している	
②学位審査手数料 受付証明書			受付局日附印が押印されている	
			①の学位授与申請書に糊付けしている	
③「基礎資格を有する者」に該当することの証明書			大学の学生として2年以上在学し62単位以上修得したことの証明書(卒業証明書・退学証明書・在学期間証明書等)がある もしくは、単位修得証明書(成績証明書)で確認できる	
④単位修得状況等 申告書(総括表、 内訳表1~3)	/		大学の単位及び認定専攻科の単位のみで124単位以上を申告している (短期大学・高等専門学校)の学科や専門学校の単位は該当しません	
			(郵送申請の場合) 単位修得状況等申告書(総括表、内訳表1~3)がある また、内訳表1~3については、それぞれ枚数がすべて揃っている ※電子申請の場合はインターネットを介して送信されますので、郵送は不要です。	
⑤単位修得証明書 (成績証明書)			申告する単位を修得した機関すべての単位修得証明書(学校印あり)がある (※放送大学の「単位修得状況一覧(単位認定書)」は使用できません。)	
⑥学修成果(レポート または作品等)			「新しい学士への途」の③「学修成果」の作成に沿って、倫理的配慮に留意して作成している	
			提出部数が5部(専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の場合は、提出形態により5枚、5本、5セット)ある	
⑦学修成果の要旨 または説明書			要旨または説明書が5部(専攻の区分「美術」「演劇」で学修成果を「作品」とする場合は、作品ごとに5部)ある	
⑧住民票			申請前3か月以内に発行され、公印(市区町村印)がある	
			社会保障・税番号制度に基づくマイナンバー(個人番号)が記載されていない	
⑨受験票・写真票・ 到着お知らせはがき			4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			受験票及び写真票の太枠内に必要事項を記入している	
			写真は受験票・写真票ともに同一のものを使用し、「専攻の区分」「氏名」を裏書きした上で糊付けしている	
			到着お知らせはがきに返信先を記入している	
⑩大学の学生として 現に在学していない ことの証明書			大学の卒業(退学)証明書または在学期間証明書がある もしくは、単位修得証明書に入学・卒業(または退学)年月日が記載されている	
⑪短期大学または高等 専門学校の専攻科 修了見込証明書	該当者のみ	該当者のみ	【専攻科修了見込みでの申請を行う者のみ】 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込証明書がある	

署名 \_\_\_\_\_

全ての欄にチェックが入ったら署名してください↑



■このチェックリストは、申請書類と一緒に封筒に入れてください。■



【第1・2区分】

基礎資格を有する者の区分:  
外国において学校教育における14年以上の課程を修了した者

申請書類チェックリスト(平成30年度)

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄		申請に必要な書類等	※ (事務欄)
	電子	郵送		
①学位授与申請書	/	/	電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある (※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷)	
			(郵送申請の場合) 4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			大学の学部学生として現に在学していない (※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。)	
			氏名を自筆・楷書で丁寧に記入している	
②学位審査手数料 受付証明書	/	/	受付局日附印が押印されている	
			①の学位授与申請書に糊付けしている	
③「基礎資格を有する者」に該当することの証明書	/	/	機構において基礎資格の事前確認を行っている	
			「事前確認を行った時期を記したメモ(様式自由)」がある	
			「事前確認を行ったときに提出した証明書類」がある	
④単位修得状況等 申告書(総括表、 内訳表1~3)	/	/	(郵送申請の場合) 単位修得状況等申告書(総括表、内訳表1~3)がある また、内訳表1~3については、それぞれ枚数がすべて揃っている ※電子申請の場合はインターネットを介して送信されますので、郵送は不要です。	
			(郵送申請の場合) 「専攻に係る授業科目の区分」が「新しい学士への途」のp.51~119にある「専攻に係る授業科目の区分」の名称もしくは「学位授与申請書類」のp.27(4)①にある省略例に沿っている	
⑤単位修得証明書 (成績証明書)	/	/	申告する単位を修得した機関すべての単位修得証明書(学校印あり)がある (※放送大学の「単位修得状況一覧(単位認定書)」は使用できません。)	
⑥学修成果(レポート または作品等)	/	/	「新しい学士への途」の③「学修成果」の作成に沿って、倫理的配慮に留意して作成している	
			提出部数が5部(専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の場合は、提出形態により5枚、5本、5セット)ある	
⑦学修成果の要旨 または説明書	/	/	要旨または説明書が5部(専攻の区分「美術」「演劇」で学修成果を「作品」とする場合は、作品ごとに5部)ある	
⑧住民票	/	/	申請前3か月以内に発行され、公印(市区町村印)がある	
			社会保障・税番号制度に基づくマイナンバー(個人番号)が記載されていない	
⑨受験票・写真票・ 到着お知らせはがき	/	/	4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			受験票及び写真票の太枠内の項目に記入している	
			写真は受験票・写真票ともに同一のものを使用し、「専攻の区分」「氏名」を裏書きした上で糊付けしている	
			到着お知らせはがきに返信先を記入している	
⑩大学の学生として 現に在学していない ことの証明書	該当者のみ	該当者のみ	<b>【大学の学生として大学に入学(編入学)をした者のみ】</b> 大学の卒業(退学)証明書または在学期間証明書がある もしくは、単位修得証明書に入学・卒業(または退学)年月日が記載されている	
⑪短期大学または高等 専門学校専攻科 修了見込証明書	該当者のみ	該当者のみ	<b>【専攻科修了見込みでの申請を行う者のみ】</b> 短期大学または高等専門学校の専攻科修了見込証明書がある	

署名 \_\_\_\_\_

全ての欄にチェックが入ったら署名してください↑



■このチェックリストは、申請書類と一緒に封筒に入れてください。■



【再申請】前回申請時の判定結果：修得単位の審査が「不可」の場合

申請書類チェックリスト(平成30年度)

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に  
合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄		申請に必要な書類等	※ (事務欄)
	電子	郵送		
①判定結果証明書			判定結果証明書(前回の判定結果通知に添付)がある	
②学位授与申請書	/	/	電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある (※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷)	
			(郵送申請の場合)4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			大学の学部学生として現に在学していない (※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。)	
			氏名を自筆・楷書で丁寧に記入している	
③学位審査手数料 受付証明書			受付局日附印が押印されている	
			②の学位授与申請書に糊付けしている	
④単位修得状況等 申告書(総括表, 内訳表1~3)	/	/	(郵送申請の場合)単位修得状況等申告書(総括表,内訳表1~3)がある また,内訳表1~3については,それぞれ枚数がすべて揃っている ※電子申請の場合はインターネットを介して送信されますので,郵送は不要です。	
			(郵送申請の場合)「専攻に係る授業科目の区分」が「新しい学士への途」のp.51~119にある「専攻に係る授業科目の区分」の名称もしくは「学位授与申請書類」のp.27(4)①にある省略例に沿っている	
⑤単位修得証明書 (成績証明書)			申告する単位を修得した機関すべての単位修得証明書(学校印あり)がある (※放送大学の「単位修得状況一覧(単位認定書)」は使用できません。)	
⑥学修成果(レポート または作品等)	/	/	不要です	
⑦学修成果の要旨 または説明書	/	/	不要です	
⑧住民票			申請前3か月以内に発行され,公印(市区町村印)がある	
			社会保障・税番号制度に基づくマイナンバー(個人番号)が記載されていない	
⑨受験票・写真票・ 到着お知らせはがき	/	/	4月期申請の場合は「4月期申請用」を,10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			写真票及び受験票は不要です	
			到着お知らせはがきに返信先を記入している	

署名 \_\_\_\_\_

全ての欄にチェックが入ったら署名してください↑



■このチェックリストは、申請書類と一緒に封筒に入れてください。■

【再申請】前回申請時の判定結果：学修成果・試験の審査が「不可」の場合  
申請書類チェックリスト(平成30年度)

「電子申請」か「郵送申請」か提出形態に  
合わせ、チェックを行ってください。

申請書類等	チェック欄		申請に必要な書類等	※ (事務欄)
	電子	郵送		
①判定結果証明書			判定結果証明書（前回の判定結果通知に添付）がある	
②学位授与申請書			電子申請用または郵送申請用の学位授与申請書がある （※電子申請の場合は保存したPDFファイルから印刷）	
			（郵送申請の場合）4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			大学の学部学生として現に在学していない （※放送大学の全科履修生は学部学生に該当します。）	
			氏名を自筆・楷書で丁寧に記入している	
③学位審査手数料 受付証明書			受付局日附印が押印されている	
			②の学位授与申請書に糊付けしている	
④単位修得状況等 申告書（総括表、 内訳表1～3）			不要です	
⑤単位修得証明書 （成績証明書）			不要です	
⑥学修成果（レポ ートまたは作品等）	該当者の のみ	該当者の のみ	「新しい学士への途」の「③「学修成果」の作成」に沿って、倫理的配慮に留意して作成している	
			判定結果証明書において、前回の不可理由が「イ」または「ロ」の場合、学修成果を書き直している ※ イ 学修成果のテーマの設定が適切でない ロ 学修成果の内容が水準に達していない	
			（専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の場合のみ） 前回の面接試験で不可理由が「ハ」または「ニ」であっても、専攻の区分「音楽」の場合、再申請前6か月以内、「美術」、「演劇」の場合は再申請前1年以内に学修成果を制作している。 ※ ハ 試験の結果、学修成果の内容が学力として定着しているとは認められない ニ 試験を受けていない	
			提出部数が5部（専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の場合は、提出形態により5枚、5本、5セット）ある	
⑦学修成果の要旨 または説明書			要旨または説明書が5部（専攻の区分「美術」「演劇」で学修成果を「作品」とする場合は、作品ごとに5部）ある	
⑧住民票			申請前3か月以内に発行され、公印（市区町村印）がある	
			社会保障・税番号制度に基づくマイナンバー（個人番号）が記載されていない	
⑨受験票・写真票・ 到着お知らせはがき			4月期申請の場合は「4月期申請用」を、10月期申請の場合は「10月期申請用」を使用している	
			受験票及び写真票の太枠内の項目に記入している	
			写真は受験票・写真票ともに同一のものを使用し、「専攻の区分」「氏名」を裏書きした上で糊付けしている	
			到着お知らせはがきに返信先を記入している	

署名 \_\_\_\_\_

全ての欄にチェックが入ったら署名してください↑



## 目 次

□ 電子申請	1
○ 申請者IDおよびパスワード	1
○ インターネットを利用した電子申請の方法	2
○ 申請に必要な書類等一覧表（電子申請）	8
○ 電子申請用書類の作成方法等	12
□ 郵送申請	15
○ 申請に必要な書類等一覧表（郵送申請）	16
○ 郵送申請用書類の作成方法等	20
【様式】	
・ 学位授与申請書（平成30年度4月期）	
・ 学位授与申請書（平成30年度10月期）	
・ 単位修得状況等申告書（見本）	
・ あて名用紙	
□ 電子申請・郵送申請共通書類	45
○ 電子申請・郵送申請共通書類の記入方法等	46
【様式】	
・ 受験票・写真票・到着お知らせはがき（平成30年度4月期）	
・ 受験票・写真票・到着お知らせはがき（平成30年度10月期）	
・ 専修学校専門課程修了等証明書	
・ 高等学校等専攻科修了証明書	
・ 【別紙様式1】「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト 「高等学校または中等教育学校の後期課程の専攻科」【全日制または定時制】用	
・ 【別紙様式2】「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト 「高等学校または中等教育学校の後期課程の専攻科」【通信制】用	
・ 【別紙様式3】「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト 「特別支援学校の高等部の専攻科」用	
・ 学位審査手数料払込用紙	



# □ 電 子 申 請

## ○ 申請者IDおよびパスワード

電子申請システム案内ページ (<http://gakui-sinsei.niad.ac.jp/>)  
よりログイン画面を表示し、次の申請者IDとパスワードで  
ログインしてシステムをご利用ください。

あなたの申請者IDとパスワードは

申請者ID：  
パスワード：

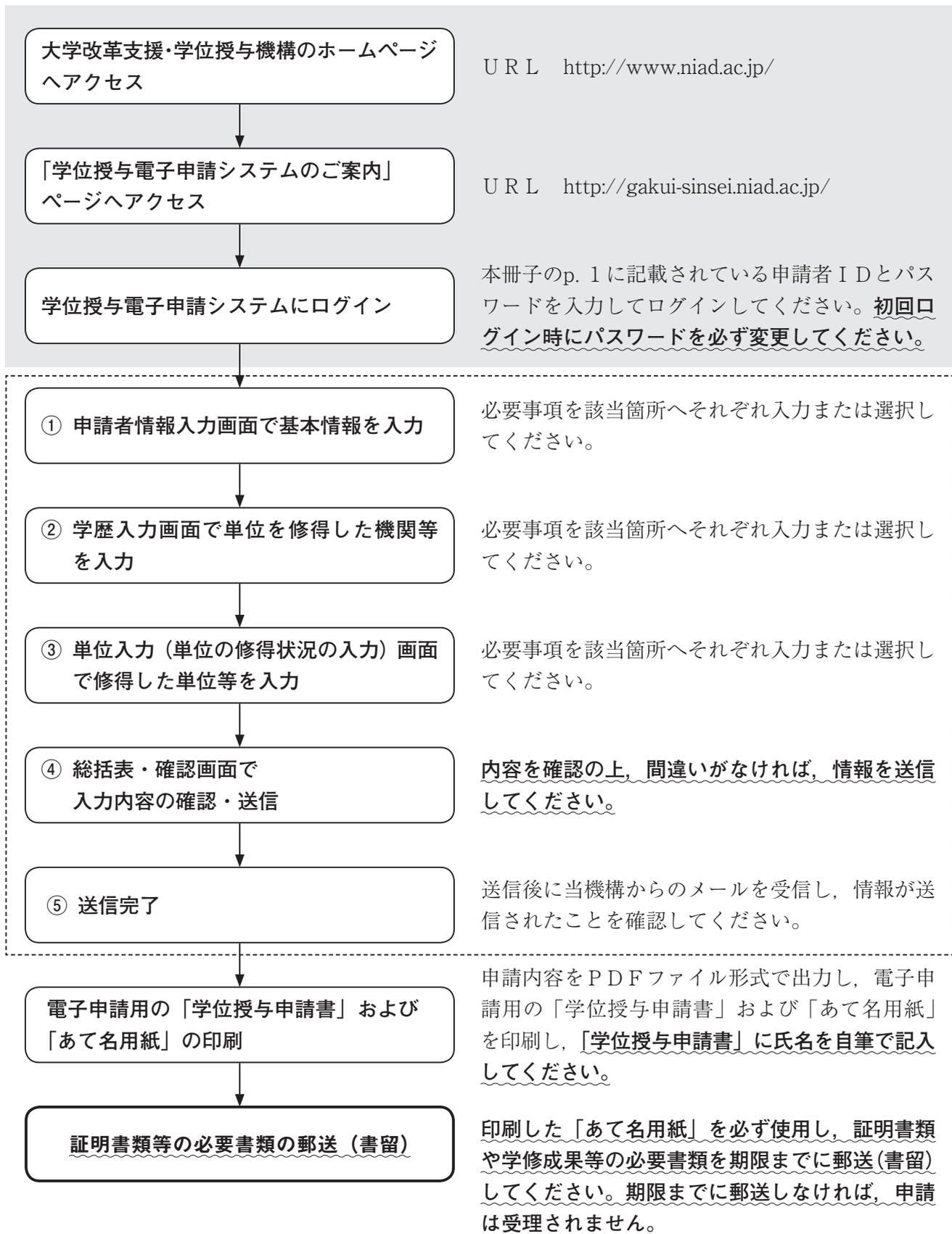
IDとパスワードは冊子版の  
「学位授与申請書類」に記載さ  
れています。

です。(※初回ログイン時にパスワードを必ず変更してください。  
なお、パスワードは半角英数字で4～20桁で設定してください。)

※ 「電子申請」を利用するにあたっては、電子申請用の「学位授与申請書」と「あて名用紙」をプリンタによりA4サイズで印刷する必要があります。

※ 「学位授与申請書」と「あて名用紙」に掲載されているバーコードは電子的に読み取りますので、鮮明に印刷してください。

## ○ インターネットを利用した電子申請の方法



p. 3～  
参照

p. 5～  
参照

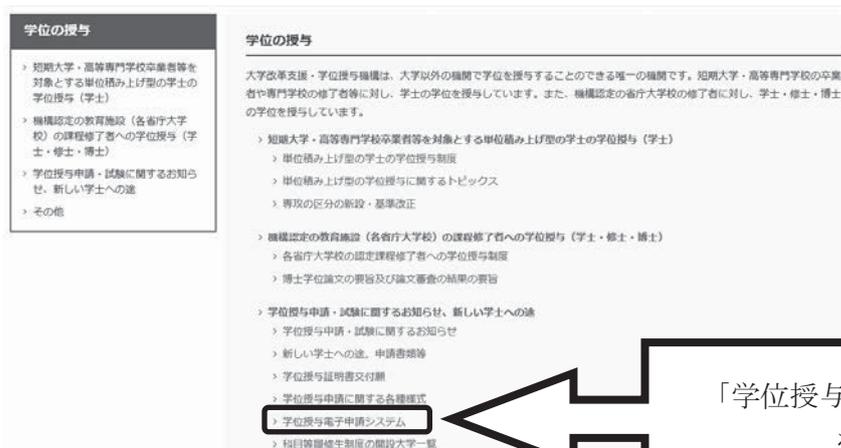
1 大学改革支援・学位授与機構のホームページへアクセス

URL <http://www.niad.ac.jp/>

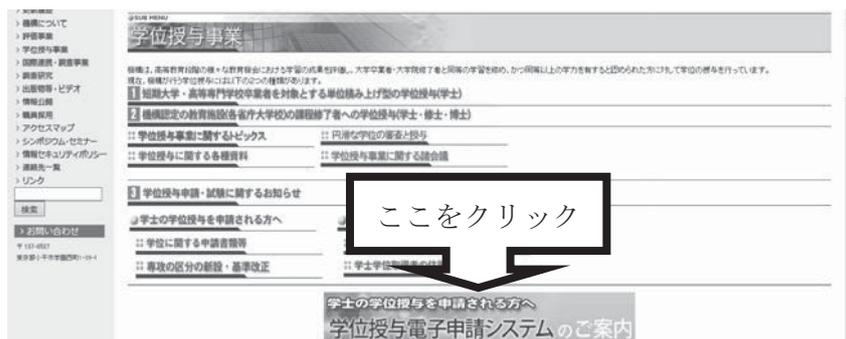


2 「学位授与電子申請システムのご案内」ページへアクセス

URL <http://gakui-sinsei.niad.ac.jp/>

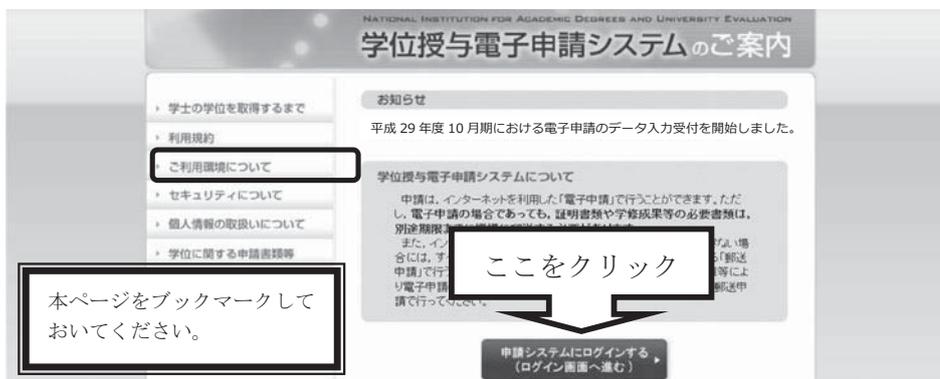


(平成30年4月にウェブサイトのリニューアルを予定しています。平成30年3月末までは、旧ウェブサイトにて以下のとおりにアクセスしてください。)



### 3 学位授与電子申請システムにアクセス

推奨のOSやブラウザについては、画面左の「ご利用環境について」からご確認ください。  
推奨ブラウザ以外の場合、正常に動作しない場合があります。



#### \*ご利用環境について\*

平成30年2月現在のご利用環境については以下のとおりです。最新の情報はログイン時に必ず確認してください。

OS及びブラウザ

※Google Chromeでは正しく表示・入力できない場合がありますので、以下のOSとブラウザの組み合わせでお使いください。

Windows7 SP1

InternetExplorer11 推奨

(IEの場合互換表示設定を有効としてください)

Firefox3.5以上 推奨

Windows8.1

InternetExplorer11

(IEの場合互換表示設定を有効としてください)

Firefox3.5以上 推奨

Windows10

InternetExplorer11

(IEの場合互換表示設定を有効としてください)

Firefox3.5以上 推奨

MAC OS X v10.6以降

Safari 5.1以降

### 4 学位授与電子申請システムにログイン

本冊子のp. 1に記載されている申請者IDとパスワードを入力してログインしてください。



【注意】初回ログイン時にパスワードを必ず変更してください。

(※パスワードに使用できるのは半角英数字です。記号は使用できません。)

操作方法がわからない時は、右上のヘルプで確認してください。



## 電子申請入力の流れ

学位授与電子申請システムでは、一度入力したデータは自動保存されますので、空いている時間を利用して作成することができます。また、入力した授業科目の単位数が自動集計されますので、計算ミスを防止できるなど便利な機能を備えています。是非ご利用ください。

○電子申請は大きく5つのステップで構成されています。



### ① 申請者情報入力

専攻の区分や住所氏名から、学修成果のテーマ名まで入力欄に従って入力してください。  
※印は入力必須項目です。

学位授与電子申請システム 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構

★学園 修子 様 単位修得状況等申告書(平成28年度10月期申請) ヘルプ? ログアウト PDF出力

申請者情報入力 学歴入力 単位入力 総括表・確認 送信完了

#### 申請者情報入力

学歴入力に進む ▶

\*と表示されている項目は必ず記入してください。

パスワード (初めてログインする場合は必ず変更してください) ▼パスワード変更

パスワード \* [ ] (半角英数字/4~20桁で設定をしてください。)

パスワード(確認) \* [ ]

#### 申請情報

申請年月日 \* 平成28年 10月 2日

基礎資格を有する者の区分 \* 1) 大学の学生として2年以上在学し62単位以上を修得した方 [選択]

専攻科修了見込みでの申請  短期大学・高等専門学校等の認定専攻科を修了見込みで申請する方

再申請  再申請

専攻分野の名称 \* [理学]

専攻の区分 \* [教養・情報系]

受験希望地区 \* [東京地区]

#### 申請者情報

氏名(漢字) \* 姓 [★学園] 名 [修子] (旧姓) [ ]

氏名(カナ) \* セイ [カクエイン] メイ [シユウコ] (全角カナ)

性別 \*  男  女

中 略

前付番号 \* [2803929]

入金日 平成28年 9月 28日

#### 学修成果

テーマ名 \* [関数解析]

学歴入力に進む ▶

## ② 学歴入力

学校名等の入力については、p.25を参照してください。

学歴（単位を修得した機関）等を入力していきます。

## ③ 単位入力

授業科目名等を入力していきます。単位修得証明書の記載どおり正確に入力してください。修得した機関は[② 学歴入力]で入力した機関から選択可能になります。

※授業科目名や単位数は、現行のカリキュラムではなく、ご自身が在籍していた当時のものを入力してください。

## ④ 総括表・確認

[③ 単位入力]で入力した単位を元に総括表が自動計算され、表示されます。また、今まで入力した内容が表示されますので、確認してください。

学位授与電子申請システム

★学園 修子 様 単位修得状況等申告書(平成28年度 10月期申請)

申請者情報入力 学歴入力 単位入力 総括表・確認 送信完了

総括表・確認

以下の内容で申請します。総括表、単位情報、申請者情報を確認して、画面右下にある「この内容で申請する」ボタンを押してください。

専攻分野の名称:理学 専攻の区分:数学・情報系 通算学修期間: 4年

第1表

学歴	学校名	入学の時期	卒業等の時期
学校名:XX大学 学部名:理学部		平成 20年 04月 入学	平成 22年 03月 退学
学校名:〇〇短期大学専攻科 学部名:数学専攻		平成 22年 04月 入学	平成 23年 03月 修了
(科目等履修生としての学修期間)		入学の時期	卒業等の時期
学校名:△△大学 学部名:工学部		平成 26年 04月 入学	平成 27年 03月 修了

第2表

確認が終わったら画面下部の[この内容で申請する]ボタンをクリックします。

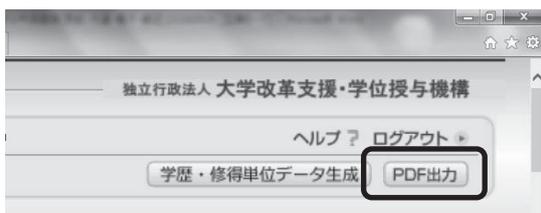
※注意 一度申請が完了すると、再度申請内容を修正することはできません。

## ⑤ 送信完了

送信が完了すると、登録したメールアドレス宛にメールが送信されますので確認してください。

**メールタイトル：学位授与電子申請システムからのお知らせ**

また、送信データは必ず保存してください。(画面右上のPDF出力から保存可能です。)



## ※利用の際の留意事項

- 学位授与電子申請システムにログイン後、利用されない時間が**30分を超えます**と安全対策のためサーバとの通信が切断され、**タイムアウト（時間切れ）**になります。  
タイムアウトになった場合、ログイン画面を開き、再度ログインし直して、引き続き入力を行ってください。
- 入力したデータは**次のページに進む**、あるいは**前のページに戻ると自動的に保存**されます。
- 作業を一時中断する場合は、必ず**ログアウト**してください。

電子申請用の「学位授与申請書」および「あて名用紙」の印刷(p.12)  
に続く

## ○ 申請に必要な書類等一覧表（電子申請）

申請書類等		基礎資格を有する者の区分				
		第1区分・第2区分			第3区分	
		短期大学・ 高等専門学校 等卒業者	専門学校 修了者	高等学校等 専攻科 修了者	大学の学生 として2年以 上在学し62 単位以上を 修得した者	
①～⑨はいずれの申請者も提出してください。 ⑩, ⑪については、該当する場合のみ提出してください。 (詳しくは p.9～11 参照) ①, ⑨については、4月期申請用と10月期申請用があります ので、ご注意ください。						
①	学位授与申請書（電子申請用）		●			
②	学位審査手数料受付証明書 ※①の学位授与申請書にしっかりと貼付してください。		○			
③	「基礎資格を有する者」に 該当することの証明書	短期大学・高等専門学校の卒業証明書	◎	—	—	—
		専修学校専門課程修了等証明書 ※当機構指定の様式。当機構のウェブサイトからも 様式をダウンロードして作成できます。	—	○	—	—
		高等学校等専攻科修了証明書 ※当機構指定の様式。当機構のウェブサイトからも 様式をダウンロードして作成できます。	—	—	○	—
		大学入学資格を証明する書類 (高等学校の卒業証明書等)	—	◎	◎	—
		大学の学生として2年以上在学し 62単位以上修得したことの証明書 (単位修得証明書(成績証明書), 在学期間証明書, 卒業証明書, 退学証明書等)	—	—	—	◎
④	単位修得状況等申告書 (総括表, 内訳表1, 内訳表2, 内訳表3) ※インターネットを介して送信されます。		—			
⑤	単位修得証明書(成績証明書) ※専門学校や高等学校専攻科の証明書などで、単位数の記載が なく、授業時数のみ証明されている場合は、 <b>授業時数を単位数            に換算したもの及び換算基準</b> を提出してください。 不明な点は当機構にお問い合わせください。		◎ (修得した機関ごとに各1部)			
⑥	学修成果(レポートまたは作品等)		◎ (5部)			
⑦	学修成果の要旨または説明書 ※説明書は当機構のウェブサイトから様式をダウンロードして 作成できます。		◎ (5部)			
⑧	住民票 ※申請前3か月以内に発行されたもの。公印があり、 <u>マイナンバー(個人番号)の記載がないもの</u>		◎			
⑨	受験票・写真票・到着お知らせはがき		○			
⑩	大学の学生として現に在学していないことの証明書 (退学証明書, 卒業証明書等)		◎ (大学の学部学生として大学に 入学(編入学)をした者のみ)			
⑪	短期大学・高等専門学校の専攻科修了見込証明書		◎ (短期大学・高等専門学校の認定専攻科修了見込者 で、「専攻科修了見込みでの申請」を行う者のみ)			

## 1 申請に必要な書類等について

(1) 左表のうち、「◎」は申請者自身が準備するもの、「○」は本冊子の電子申請・郵送申請共通書類の用紙（→p.49～）を使用するもの、「●」は電子申請システムからダウンロードし、保存したPDFファイルを印刷するものを示します。

ご自身の「基礎資格を有する者の区分」に対応した必要書類を、左表や巻頭（目次前）の申請書類チェックリストを使用して、漏れがないよう確認の上、一括して提出してください。

(2) 「⑧ 住民票」や「③⑤⑩⑪ 各種証明書」は、必ず公印のある原本（コピー不可）を提出してください。また、各種証明書が入っている封筒は、開封無効となっている場合でも必ず開封し、内容を確認してから郵送してください。

(3) 左表において、提出部数の指定のないものについてはすべて1部です。

(4) 再申請される方は、『新しい学士への途－学位授与申請案内 平成30年度版－』に必要書類が記載してあります（→学士への途p.48～50）ので必ず参照してください。

## 2 申請に必要な書類等の注意事項

### ① 学位授与申請書（電子申請用）

「『① 学位授与申請書（電子申請用）』作成上の注意」（→p.12）に従って作成してください。

### ③ 「基礎資格を有する者」に該当することの証明書

#### 短期大学・高等専門学校等卒業生

##### ・ 短期大学・高等専門学校の卒業証明書

短期大学・高等専門学校の専攻科の修了証明書は該当しません。

#### 専門学校修了者

##### ・ 専修学校専門課程修了等証明書

当機構指定の様式（→本冊子の巻末）で提出してください。（専門学校指定の様式は「不可」）

また、当機構のウェブサイトからも同様の様式をダウンロードすることができます。詳しくは巻末の「専修学校専門課程修了等証明書」裏面をご覧ください。

##### ・ 大学入学資格を証明する書類

専門学校修了を基礎資格とする場合は、必ず提出してください。

大学入学資格を証明する書類としては、「高等学校の卒業証明書」、「高等学校卒業程度認定試験の合格証明書」が挙げられます。

この他に該当すると思われる証明書については、事前に当機構までお問い合わせください。

## 高等学校等専攻科修了者

### ・ 高等学校等専攻科修了証明書（およびチェックリスト）

当機構指定の様式（→本冊子の巻末）で提出してください。（高等学校等指定の様式は「不可」）

また、併せて「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト（→本冊子の巻末）についても高等学校等に発行いただき、必ず提出してください。

なお、高等学校または中等教育学校後期課程の専攻科修了者のうち「全日制または定時制」の方は【別紙様式1】を、「通信制」の方は【別紙様式2】を使用してください。特別支援学校高等部の専攻科を修了した方は【別紙様式3】を使用してください。

### ・ 大学入学資格を証明する書類

高等学校等専攻科修了を基礎資格とする場合は、必ず提出してください。

大学入学資格を証明する書類としては、「高等学校の卒業証明書」、「高等学校卒業程度認定試験の合格証明書」が挙げられます。

この他に該当すると思われる証明書については、事前に当機構までお問い合わせください。

## 大学の学生として2年以上在学し62単位以上修得した者

### ・ 大学の学生として2年以上在学し62単位以上修得したことの証明書

大学を卒業した方は、「卒業証明書」、大学を退学した方は、「退学証明書」または「在学期間証明書」が必要となります。ただし、「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」に入学・卒業（または退学）年月日が記載されている場合は、これらの書類に代えることができます。

### ④ 単位修得状況等申告書（総括表、内訳表1、内訳表2、内訳表3）

電子申請の場合、インターネットを介して送信されますので、郵送は不要です。

### ⑤ 単位修得証明書（成績証明書）

「④ 単位修得状況等申告書」に記載したすべての単位について、授業科目名、単位数等を証明する「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」（学校印があるもの）を提出してください。

#### ※ 「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」が授業時数で記載されている場合

申請にあたり、授業時数を単位数に換算する必要があります。単位換算基準の有無について出身校にお問い合わせください。申請の際には、「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」の他に、単位換算基準と、それに従い自分で換算したもの（証明書をコピーし、換算した数値を赤字記入したもの）を提出してください。不明な点は、当機構までお問い合わせください。

### ⑥ 学修成果（レポートまたは作品等）

「学修成果の作成」に沿って作成し、提出してください。（⇒学士への途p.20～33）

### ⑦ 学修成果の要旨または説明書

「⑥ 学修成果」の形態によって、「要旨」または「説明書」を提出してください。

(⇒学士への途p.25～33)

なお、「説明書」については、当機構のウェブサイトから様式をダウンロードして作成することができます。

#### 【ダウンロード方法】

ア 機構のホームページにアクセスする。(詳しくはp.3参照)

イ 「学位の授与」→「学位授与申請に関する各種様式」を順にクリックする。

(平成30年3月末までは以下のとおりアクセスしてください。)

「事業紹介」→「学位授与事業」→「学位に関する申請書類等」を順にクリックする。

ウ イでクリックした後の画面をスクロールして、様式をダウンロードする。

この様式のファイルは、Word・PDFの2種類があります。

### ⑧ 住民票

申請前3か月以内に発行されたもので、公印があるもの。

また、マイナンバーの記載がないもの。複数枚ある場合はホチキス等を外さず、すべて提出してください。

### ⑩ 大学の学生として現に在学していないことの証明書

大学の学部学生として、大学に入学(編入学)した方のみ必要となります(⇒学士への途p.38)。  
証明書としては、「退学証明書」、「卒業証明書」などが挙げられます。

### ⑪ 短期大学・高等専門学校の特攻科修了見込証明書

短期大学・高等専門学校の認定特攻科修了見込みの方で、「特攻科修了見込みでの申請」(⇒学士への途p.41)を行う方のみ必要となります。

## 3 その他

記載内容について照会することがありますので、当機構に送付した提出物は必ず写し(コピー)を保管しておいてください。



### 3 「単位修得状況等申告書」の「内訳表」作成上の注意

#### 【重要】

申告していない単位は審査の対象外となります。申請後に単位を追加で申告することはできません。修得単位の審査において、授業科目の区分は申告どおりの判定にならない場合がありますので、審査に必要と考えられる単位はすべて申告してください。

### 4 申請書類等を入れた封筒について

- (1) 申請書類等を入れた封筒の表面に「あて名用紙（電子申請用）」を必ず貼付してください。（郵送申請用の「あて名用紙」は使用しないでください。）
- (2) 郵便局の窓口で書留扱いにして期限までに送付し、「書留郵便物受領証」を保管しておいてください。郵便ポストには投函しないでください。  
 ➔ 電子申請用の「学位授与申請書」および「あて名用紙」の作成が終わった方は、電子申請・郵送申請共通書類（→p.45）にお進みください。

「あて名用紙（電子申請用）」

切手貼付

187-8587

学位授与申請書類  
 (電子申請用) 在中

独立行政法人  
**大学改革支援・学位授与機構**  
**学位審査課**  
 行

書留

東京都小平市学園西町一―二九―一

書留引受番号

見込・再申請  
該当なし

申請者	住 所	〒187-8587 東京都〇〇市〇〇町〇〇-〇〇-〇〇 △△アパート〇〇号室		
	氏 名	小平 学	電話番号	042-000-0000
	専攻分野の名称	工学	専攻の区分	電気電子工学



※この欄には記入しないでください。

○ 郵便局の窓口で書留扱いにして送付してください。  
 (「書留郵便物受領証」を保管しておいてください。)

○ 郵便ポストに投函してはいけません。

H30.10

郵送申請用の「あて名用紙」は使用しないでください。

13



# 郵 送 申 請

## ○ 申請に必要な書類等一覧表（郵送申請）

申請書類等		基礎資格を有する者の区分				
		第1区分・第2区分			第3区分	
		短期大学・ 高等専門学校 等卒業者	専門学校 修了者	高等学校等 専攻科 修了者	大学の学生 として2年以 上在学し62 単位以上を 修得した者	
①～⑨はいずれの申請者も提出してください。 ⑩, ⑪については、該当する場合のみ提出してください。 (詳しくは p.17～19 参照) ①, ⑨については、4月期申請用と10月期申請用があります ので、ご注意ください。						
①	学位授与申請書（郵送申請用）	★				
②	学位審査手数料受付証明書 ※①の学位授与申請書にしっかりと貼付してください。	○				
③	「基礎資格を有する者」に 該当することの証明書	短期大学・高等専門学校の卒業証明書	◎	—	—	—
		専修学校専門課程修了等証明書 ※当機構指定の様式。当機構のウェブサイトからも 様式をダウンロードして作成できます。	—	○	—	—
		高等学校等専攻科修了証明書 ※当機構指定の様式。当機構のウェブサイトからも 様式をダウンロードして作成できます。	—	—	○	—
		大学入学資格を証明する書類 (高等学校の卒業証明書等)	—	◎	◎	—
		大学の学生として2年以上在学し 62単位以上修得したことの証明書 (単位修得証明書(成績証明書), 在学期間証明書, 卒業証明書, 退学証明書等)	—	—	—	◎
④	単位修得状況等申告書 (総括表, 内訳表1, 内訳表2, 内訳表3) ※当機構指定の様式。原則、当機構のウェブサイトから様式 (Excel ファイル) をダウンロードしてください。	☆				
⑤	単位修得証明書(成績証明書) ※専門学校や高等学校等専攻科の証明書などで、単位数の記載 がなく、授業時数のみ証明されている場合は、 <b>授業時数を単 位数に換算したもの及び換算基準</b> を提出してください。不明な点 は当機構にお問い合わせください。	◎ (修得した機関ごとに各1部)				
⑥	学修成果(レポートまたは作品等)	◎ (5部)				
⑦	学修成果の要旨または説明書 ※説明書は当機構のウェブサイトから様式をダウンロードして 作成できます。	◎ (5部)				
⑧	住民票 ※申請前3か月以内に発行されたもの。公印があり、 <u>マイナンバー(個人番号)の記載がないもの</u>	◎				
⑨	受験票・写真票・到着お知らせはがき	○				
⑩	大学の学生として現に在学していないことの証明書 (退学証明書, 卒業証明書等)	◎ (大学の学部学生として大学に 入学(編入学)をした者のみ)				
⑪	短期大学・高等専門学校の専攻科修了見込証明書	◎ (短期大学・高等専門学校の認定専攻科修了見込者 で、「専攻科修了見込みでの申請」を行う者のみ)				

## 1 申請に必要な書類等について

- (1) 左表のうち、「◎」は申請者自身が準備するもの、「○」は本冊子の電子申請・郵送申請共通書類の用紙（→p.49～）を使用するもの、「★」は本冊子の郵送申請書類の用紙（→p.35～）を使用するもの、「☆」は当機構ウェブサイトから様式をダウンロードするものを示します。ご自身の「基礎資格を有する者の区分」に対応した必要書類を、左表や巻頭（目次前）の申請書類チェックリストを使用して、漏れがないよう確認の上、一括して提出してください。
- (2) 「⑧ 住民票」や「③⑤⑩⑪ 各種証明書」は必ず公印のある原本（コピー不可）を提出してください。また、各種証明書が入っている封筒は開封無効となっている場合でも、必ず開封し、内容を確認してから郵送してください。
- (3) 左表において、提出部数の指定のないものについてはすべて1部です。
- (4) 再申請される方は、『新しい学士への途－学位授与申請案内 平成30年度版－』に必要書類が記載してありますので必ず参照してください。（➡学士への途p.48～50）

## 2 申請に必要な書類等の注意事項

- ① 「学位授与申請書（郵送申請用）」  
 『学位授与申請書（郵送申請用）』の作成上の注意（→p.22）に従って作成してください。

- ③ 「基礎資格を有する者」に該当することの証明書

### 短期大学・高等専門学校等卒業者

- 短期大学・高等専門学校の卒業証明書  
 短期大学・高等専門学校の専攻科の修了証明書は該当しません。

### 専門学校修了者

- 専修学校専門課程修了等証明書  
 当機構指定の様式（→本冊子の巻末）で提出してください。（専門学校指定の様式は「不可」）  
 また、当機構のウェブサイトからも同様の様式をダウンロードすることができます。詳しくは巻末の「専修学校専門課程修了等証明書」裏面をご覧ください。
- 大学入学資格を証明する書類  
 専門学校修了を基礎資格とする場合は、必ず提出してください。  
 大学入学資格を証明する書類としては、「高等学校の卒業証明書」、「高等学校卒業程度認定試験の合格証明書」が挙げられます。  
 この他に該当すると思われる証明書については、事前に当機構までお問い合わせください。

## 高等学校等専攻科修了者

- ・ **高等学校等専攻科修了証明書（およびチェックリスト）**

当機構指定の様式（→本冊子の巻末）で提出してください。（高等学校等指定の様式は「不可」）

また、併せて「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト（→本冊子の巻末）についても高等学校等に発行いただき、必ず提出してください。

なお、高等学校または中等教育学校後期課程の専攻科修了者のうち「全日制または定時制」の方は【別紙様式1】を、「通信制」の方は【別紙様式2】を使用してください。特別支援学校高等部の専攻科を修了した方は【別紙様式3】を使用してください。

- ・ **大学入学資格を証明する書類**

高等学校等専攻科修了を基礎資格とする場合は、必ず提出してください。

大学入学資格を証明する書類としては、「高等学校の卒業証明書」、「高等学校卒業程度認定試験の合格証明書」が挙げられます。

この他に該当すると思われる証明書については、事前に当機構までお問い合わせください。

## 大学の学生として2年以上在学し62単位以上修得した者

- ・ **大学の学生として2年以上在学し62単位以上修得したことの証明書**

大学を卒業した方は、「卒業証明書」、大学を退学した方は、「退学証明書」または「在学期間証明書」が必要となります。ただし、「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」に入学・卒業（または退学）年月日が記載されている場合は、これらの書類に代えることができます。

④ **単位修得状況等申告書（総括表、内訳表1、内訳表2、内訳表3）**

当機構のウェブサイトから様式（Excelファイル）をダウンロードし、パソコンで作成してください。（手書きによる作成は原則不可。詳しくはp.20参照）

⑤ **単位修得証明書（成績証明書）**

「④ 単位修得状況等申告書」に記載したすべての単位について、授業科目名、単位数等を証明する「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」（学校印があるもの）を提出してください。

※ 「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」が授業時数で記載されている場合

申請にあたり、授業時数を単位数に換算する必要があります。単位換算基準の有無について出身校にお問い合わせください。申請の際には、「⑤ 単位修得証明書（成績証明書）」の他に、単位換算基準と、それに従い自分で換算したもの（証明書をコピーし、換算した数値を赤字記入したもの）を提出してください。不明な点は、当機構までお問い合わせください。

⑥ **学修成果（レポートまたは作品等）**

「学修成果の作成」に沿って作成し、提出してください。（➡学士への途p.20～30）

### ⑦ 学修成果の要旨または説明書

「⑥ 学修成果」の形態によって、「要旨」または「説明書」を提出してください。

(⇒学士への途p.25～33)

なお、「説明書」については、当機構のウェブサイトから様式をダウンロードして作成することができます。

#### 【ダウンロード方法】

ア 機構のホームページにアクセスする。(詳しくはp.3参照)

イ 「学位の授与」→「学位授与申請に関する各種様式」を順にクリックする。

(平成30年3月末までは以下のとおりアクセスしてください。)

「事業紹介」→「学位授与事業」→「学位に関する申請書類等」を順にクリックする。

ウ イでクリックした後の画面をスクロールして、様式をダウンロードする。

この様式のファイルは、Word・PDFの2種類があります。

### ⑧ 住民票

申請前3か月以内に発行されたもので、公印があるもの。

また、マイナンバーの記載がないもの。複数枚ある場合はホチキス等を外さず、すべて提出してください。

### ⑩ 大学の学生として現に在学していないことの証明書

大学の学部学生として大学に入学(編入学)した方のみ必要となります。(⇒学士への途p.38)  
証明書としては、「退学証明書」、「卒業証明書」などが挙げられます。

### ⑪ 短期大学・高等専門学校の特攻科修了見込証明書

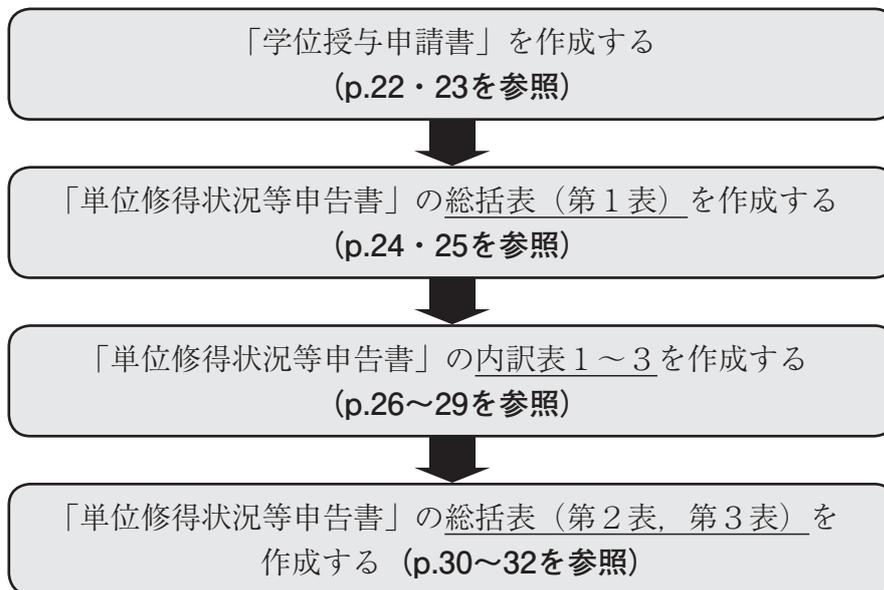
短期大学・高等専門学校の認定特攻科修了見込みの方で、「特攻科修了見込みでの申請」(⇒学士への途p.41)を行う方のみ必要となります。

## 3 その他

記載内容について照会することがありますので、当機構に送付した提出物は必ず写し(コピー)を保管しておいてください。

## ○ 郵送申請用書類の作成方法等

### 1 「学位授与申請書」, 「単位修得状況等申告書」の作成の流れ



### 2 学位授与申請書の作成にあたって

- (1) 申請者本人が記載内容をよく確認の上, 黒のボールペンを使用し, 楷書で丁寧に自筆で記入してください。
- (2) 誤って記入した場合は, 誤記入部分に二重線を引き, 余白部分に訂正してください。訂正は文字が枠からはみ出てもかまいません。

### 3 単位修得状況等申告書の作成にあたって

「単位修得状況等申告書」は, 当機構のウェブサイトから様式(Excelファイル)をダウンロードしてパソコンで作成してください。

## <単位修得状況等申告書のダウンロード方法>

- ア 当機構のホームページにアクセスする。 URL <http://www.niad.ac.jp/>
- イ 「学位の授与」→「学位授与申請に関する各種様式」を順にクリックする。※

※平成30年4月にウェブサイトのリニューアルを予定しています。平成30年3月末までは、旧ウェブサイトにて以下のとおりにアクセスしてください。  
(平成30年3月末まで)

- ア 当機構のホームページにアクセスする。 URL <http://www.niad.ac.jp/>
- イ 「事業紹介」→「学位授与事業」→「学位に関する申請書類等」を順にクリックする。

- ウ 「単位修得状況等申告書（総括表，内訳表1，内訳表2，内訳表3）」の「→ダウンロード画面」をクリックする。

**単位修得状況等申告書のダウンロード**

単位修得状況等申告書(総括表, 内訳表1, 内訳表2, 内訳表3)の様式をダウンロードすることができます。ご自分の該当する区分をよく確認して、先に進んでください。

基礎資格を有する者の区分	基礎資格を有する者	様式の選択
第1区分*	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修業年限2年の短期大学を卒業した者</li> <li>・高等専門学校を卒業した者</li> <li>・修業年限が2年以上で、かつ、課程修了に必要な総授業時数が1,700単位時間(または総単位数が62単位)以上の専門学校を修了した者(第2区分に該当する者を除く。)</li> <li>・一定の要件を満たす高等学校等専攻科を修了した者</li> </ul>	▶▶
第2区分**	<ul style="list-style-type: none"> <li>・修業年限3年の短期大学***を卒業した者</li> <li>・修業年限が3年以上で、かつ、課程修了に必要な総授業時数が2,550単位時間(または総単位数が93単位)以上の専門学校を修了した者</li> </ul>	▶▶
第3区分	・大学***の学生として2年以上在学し62単位以上を修得した者	▶▶

該当する基礎資格を有する者の区分を確認し、ここをクリック

- エ ご自身の該当する基礎資格を有する者の区分の▶▶をクリックし、申請する専攻の区分の総括表及び内訳表様式をダウンロードする。

**単位修得状況等申告書のダウンロード  
(第1区分用)**

次の中から、申請する「専攻分野の名称」「専攻の区分」を選んで、ダウンロードしてください。2003(Windows用)で作成していますので、所要事項を直接入力することができます。分からない方はこちらをご覧ください。 [→ 説明を見る。](#)

ダウンロードの方法が分からない場合は、こちらをクリックしてください。

専攻分野の名称	専攻の区分	総括表	内訳表	専攻分野の名称	専攻の区分	総括表	内訳表
文学	国語国文学	◇	□	看護学	看護学	◇	□
	英語・英米文学	◇	□		保健衛生学	検査技術科学	◇
	独語・独文学	◇	□	臨床工学		◇	□
	仏語・仏文学	◇	□	放射線技術科学		◇	□
	中国語・中国文学	◇	□	理学療法科学		◇	□
	ロシア語・ロシア文学	◇	□	作業療法科学	◇	□	

#### 4 「学位授与申請書（郵送申請用）」の作成上の注意

### (作成例)

※ 整理番号					
① 申請年月日	平成 30 年	10 月	2 日		

## 学位授与申請書（平成30年度10月期）

### （郵送申請用）

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構長 殿

②申請者氏名 (自筆) **学園修子** 旧姓 (神保)

※ここに記入した氏名が学位記に記載されますので楷書で丁寧に記入してください。

関係書類を添え、学士の学位の授与を申請します。  
この申請書及び単位修得状況等申告書の記載内容は事実と相違ありません。  
私は、大学の学部学生として在学しておりません。  
私が提出する学修成果は、「新しい学士への途」に示された要件に沿って、「学修成果」作成の際に留意すべき倫理的配慮にも基づき、私の責任において作成したものです。

③見込・再申請			④専攻分野の名称		専攻の区分		⑤受験希望地区		
見込	再	見込 継続	看護学		看護学		小論文		
							面接		
							東京	(大阪)	東京

※該当する場合のみ○で囲んでください。

⑥フリガナ	姓と名の間は1コマあけ、濁点等は1コマとして使用 カクケン シュウコ	⑧性別	男	⑨生年月日	元号	年	月	日
⑦氏名	学園 修子		(女)	S (H) 5 7 17				

⑪	郵便番号	573-0001	⑩	都道府県	京都	外国籍の場合	
	都道府県	大阪		本籍	京都	府県	
住	所	フリガナ	〇〇シ ΔΔチヨウ				
		市区町村丁目・番地 団地・棟 号室・方等	〇〇市 ΔΔ町 〇〇-〇〇				
		フリガナ	ΔΔアパート 〇〇ゴウシツ				
		ΔΔアパート 〇〇号室					

⑫連絡先電話番号	☑自宅	-	(内線)	☐昼	☑夜	ファクシミリ
	☑携帯電話	-	-	☑昼	☑夜	☑自宅
	☑勤務先	-	(内線)	☑昼	☑夜	☑勤務先
	☐通学先	-	(内線)	☐昼	☐夜	☐通学先
		☐( )	(内線)	☐昼	☐夜	☐( )

⑬メールアドレス	〇〇〇〇〇@〇〇〇〇.ne.jp
----------	------------------

⑭学位審査手数料 受付証明書 貼付欄

郵便振替払込受付証明書 (お客さま用)  
(申請者→郵便局→申請者) 銀行  
学位審査手数料 受付証明書

No. 3009550  
金額 ¥32,000  
口座番号 00170-0-278380  
三菱東京UFJ銀行 本店 普通 7902131

加入者名  
独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構  
申請者住所・氏名(フリガナ)  
\* 大阪府〇〇市ΔΔ町 〇〇-〇〇 ΔΔアパート〇〇号室  
学園修子

受付局日附印

〇〇銀行  
ΔΔ支店  
H30.9.〇

(私製承認東京府金事務センター第1190号) (申請者用)

(1) 「太枠内(①～⑬)のみ記入してください。(※印の「整理番号」欄は記入しないでください。)

(2) 各欄の記入項目について(丸付数字は「学位授与申請書」の各欄に対応しています。)

〔② 申請者氏名〕欄(ここに記入した氏名が学位記に記載されます。)

ア 自筆で記入してください。

イ 卒業証明書等に記載された姓と申請時の姓が異なる場合は、( )内に卒業証明書等に記載された姓も記入してください。

〔③ 見込・再申請〕欄

次のア～ウに該当する方のみ記入してください。(該当しない場合は記入しないでください。)

ア 専攻科修了見込みでの申請(⇒**学士への途 p.41**)の場合は、「見込」を○で囲んでください。

イ 再申請の場合は、「再」を○で囲んでください。(⇒**学士への途 p.48**)

ウ **学士への途 p.46 5**に基づき申請する方は、「見込継続」を○で囲んでください。

〔④ 専攻分野の名称、専攻の区分〕欄

表「専攻の区分、および対応する学位に付記する専攻分野の名称」(⇒**学士への途 p.6**)からそれぞれ一つ選び「専攻分野の名称」と「専攻の区分」の記入欄に記入してください。

〔⑤ 受験希望地区〕欄

ア 小論文試験の場合は、「東京」、「大阪」のいずれか希望する試験場を○で囲んでください。

イ 面接試験の場合は、「東京」を○で囲んでください(面接試験は東京地区のみ)。

〔⑨ 生年月日〕欄

「S」(昭和)、「H」(平成)は、該当するものを○で囲んでください。

〔⑫ 連絡先電話番号〕欄

ア 連絡を取ることのできる場所等の□欄に☑印を付けて記入してください。

イ 内線がある場合は、内線番号も記入してください。

ウ 連絡が可能な時間帯(「昼」または「夜」)の□欄に☑印を付けて記入してください。

〔⑬ メールアドレス〕欄

地震発生等に伴う小論文試験の中止など、緊急時に当機構から連絡を行う場合がありますので、常時連絡が取れるメールアドレスを記入してください。

〔⑭ 学位審査手数料受付証明書貼付〕欄

本冊子の巻末につづり込んである平成30年度専用の払込用紙に必要事項を記入し、郵便局または銀行等の金融機関の窓口(金融機関に備付けの払込(振込)用紙、ATMは利用しないでください。)で学位審査手数料(32,000円)を払い込み、「② 学位審査手数料受付証明書」(コピー不可)を貼付してください。

# 5 「単位修得状況等申告書」の「総括表」(第1表)作成上の注意 (作成例)

※整理番号

## 単位修得状況等申告書(平成30年度 10 月期申請)

【総括表】

第1表

氏名	学園 修子 ( 神保 )		2
専攻分野の名称	看護学	専攻の区分	看護学
		通算学修期間	4 年 月
学	学校名	入学の時期	卒業等の時期
	〇〇専門学校▽▽専門課程△△学科	平成 26 年 4 月入学	平成 29 年 3 月卒業(修了)退学 飛び級
		平成 年 月入学	平成 年 月卒業 修了 修了見込 退学 在学中
		平成 年 月入学	平成 年 月卒業 修了 修了見込 退学 在学中
歴	(科目等履修生としての学修期間)		
	□□□大学☆☆学部	平成 29 年 4 月入学	平成 30 年 3 月修了
		平成 年 月入学	平成 年 月修了
		平成 年 月入学	平成 年 月修了
		平成 年 月入学	平成 年 月修了

第2表

専攻に係る単位	短大,高専,専門学校等で修得した単位	基礎資格を有する者に該当した後に修得した単位		合計	計
		認定専攻科の単位	大学の単位		
専門科目の単位	61		2	63	a + b 1 単位以上
関連科目の単位	20		20	40	c + d 31 単位以上 (16) *
小計	81		22	103	e + f 62 単位以上 (31) *
専攻に係る単位以外の単位					g + i 24 単位以上
合計 [うち外国語の単位]					71

「総括表」の「第2表」欄,「第3表」欄は,内訳表を作成した後に入力してください。

\*( )内の単位数は第2区分の場合

第3表

専攻に係る単位	専攻に係る授業科目の区分	小計	合計	各群計	
				A 群計	B 群計
専門科目の単位	A群 基礎看護学に関する科目	14	63	A 群計	40
	A群 母性看護学に関する科目	4			
	A群 小児看護学に関する科目	4		B 群計	23
	A群 成人看護学に関する科目	6			
	A群 老人看護学に関する科目	4			
	A群 精神看護学に関する科目	4			
	A群 地域看護学に関する科目	4			
	B群 看護学に関する実習科目	23			
関連科目の単位	医学に関する科目	23	40		
	保健学に関する科目	12			
	社会福祉学に関する科目	3			
	医療情報科学に関する科目	2			

↓ 該当者のみ記入

複数回にわたる学位取得

		小計	合計
		単位	単位
後に修得した学位取得時より	専門科目	1以上	
	関連科目	6	
			16以上

(1) ※印の「整理番号」欄は入力しないでください。

(2) 【総括表】「第1表」欄

「学校名」欄

短期大学，高等専門学校，専門学校，高等学校等専攻科，大学等の入学，卒業等の年月およびそれ以降の学歴について証明書等を参照し，下記の表のとおり入力してください。

なお，修得単位を申告しない学校等（高校等）については，入力しないでください。

「(科目等履修生としての学修期間)」欄

基礎資格を有する者（⇒学士への途 p.1）に該当した後に，大学または認定専攻科の科目等履修生として学修した期間と学校名を下記の表のとおり入力してください。

機関の別	入力形式	例
短期大学・ 高等専門学校	学校名・学科名	〇〇短期大学〇〇学科 〇〇高等専門学校〇〇学科
専門学校	学校名・専門課程名・学科名	〇〇専門学校〇〇専門課程〇〇学科 ※ 専門課程名が不明の場合には，入力しなくてもかまいません。
高等学校等 専攻科	学校名・専攻科・専攻名	〇〇高等学校専攻科〇〇専攻 〇〇中等教育学校専攻科〇〇専攻 〇〇特別支援学校専攻科〇〇専攻
認定専攻科	学校名・専攻科・専攻名	〇〇短期大学専攻科〇〇専攻
大学	学校名・学部名	〇〇大学〇〇学部 ※ 「第二部」，「通信教育課程」等は，単位修得証明書のとおりに入力し，省略しないでください。
大学院	学校名・研究科名	〇〇大学大学院〇〇研究科

「入学の時期」「卒業等の時期」欄

その年月を和暦で入力し，「卒業」，「修了」，「修了見込」，「退学」，「飛び級」，「在学中」のうち該当するものを○で囲んでください。

（大学院への早期入学制度を利用するために大学を退学した場合は「飛び級」を○で囲んでください。）

「通算学修期間」欄

短期大学，高等専門学校，専門学校，高等学校等専攻科等入学以降の学修期間が表示されるので確認してください。

6 「単位修得状況等申告書」の「内訳表」作成上の注意

(作成例) ①～⑨については、p.27～29参照。

※整理番号

**【内訳表1】 専門科目の単位** 氏名: 学園 修子 (神保)

専攻に係る 授業科目の区分	授業科目名	修得した機関別の単位数			授業 の 時期 方法 (年・月)	修得 の 時期 (年・月)	修得した機関 ⑥	※
		短大,高 専,専門 学校等	認定 専攻科	大学 計				
① A群 基礎看護学	② 基礎看護学概論	2			④ 講	⑤ 27・3	〇〇専門学校▽▽専門課程 △△学科	同じ学校で まとめて ください。
	基礎看護学技術	2			講	27・3	〇〇専門学校▽▽専門課程 △△学科	
	……				……	……	……	
	看護学概論('00)			2	講	30・3	□□□大学☆☆☆学部	
	⑦ 小計	12		2				
A群 母性看護学	母性看護学概論	2			講	27・3	〇〇専門学校▽▽専門課程 △△学科	
[内訳表1]( 2 枚中 1 枚目)								

A群 地域看護学	地域看護学	2			講	28・3	〇〇専門学校▽▽専門課程 △△学科	
	小計	4		4				
⑧ A群計		38		2				
	……							
B群 看護学実習	基礎看護学実習	1			習	27・3	〇〇専門学校▽▽専門課程 △△学科	
	……							
	小計	23		23				
	B群計	23		23				
⑨ 合計		61		2				
[内訳表1]( 2 枚中 2 枚目)								

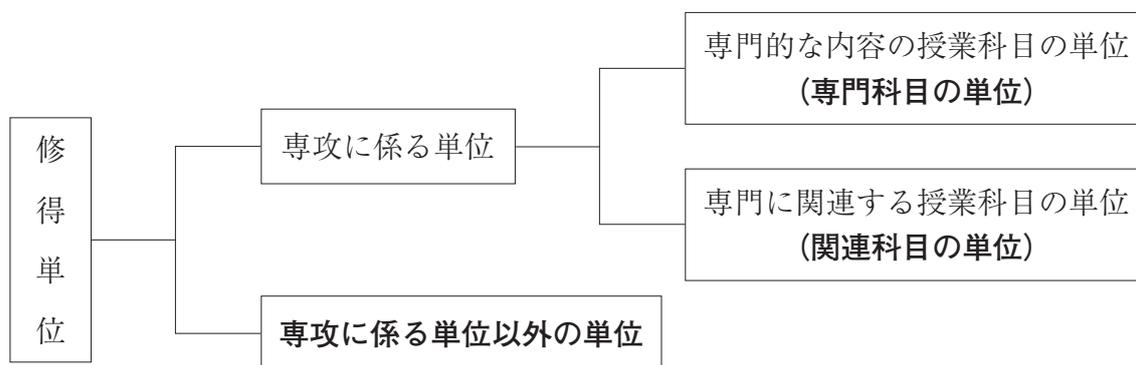
**【内訳表2】 関連科目の単位**  
【内訳表1】に準じて作成

**【内訳表3】 専攻に係る単位以外の単位** 氏名: 学園 修子 (神保)

授業科目名	修得した機関別の単位数			授業 の 時期 方法 (年・月)	修得 の 時期 (年・月)	修得した機関	※
	短大,高 専,専門 学校等	認定 専攻科	大学 計				
数学	2			講	27・3	〇〇専門学校▽▽専門課程△△学科	
英語	2			講	27・3	〇〇専門学校▽▽専門課程△△学科	
……				……	……	……	
合計	16		15				
[内訳表3]( 1 枚中 1 枚目)							

- (1) ※印の「**整理番号**」欄は入力しないでください。
- (2) 内訳表1～3のすべてのページに、「氏名」と「内訳表ごとの総枚数およびページ数（○枚中○枚目）」を必ず入力してください。
- (3) 内訳表1～3には、それぞれ次の単位を入力してください。  
 「内訳表1」→「**専門科目の単位**」  
 「内訳表2」→「**関連科目の単位**」  
 「内訳表3」→「**専攻に係る単位以外の単位**」

※「**専門科目の単位**」, 「**関連科目の単位**」, 「**専攻に係る単位以外の単位**」とは



- (4) 各内訳表は、次のとおり入力してください。  
**「専攻に係る授業科目の区分」欄**  
 ① 「専攻の区分ごとの修得単位の審査の基準」(⇒学士への途p.51～119)に記載されている区分順に授業科目を分類し、入力してください。(⇒学士への途p.17)  
 入力する際は、次表の例を参考に略して入力してください。

「専攻に係る授業科目の区分」省略例	
○○○に関する科目	→ ○○○
英語学に関する科目	→ <b>英語学</b>
機械力学・制御に関する科目	→ <b>機械力学・制御</b>
○○に関する□□的（「総合的」等）な科目	→ ○○□□
農学に関する総合的な科目	→ <b>農学総合</b>
心理学に関する基礎的・概論的な科目	→ <b>心理学基礎・概論</b>
○○に関する□□（「実習」等）科目	→ ○○□□
看護学に関する実習科目	→ <b>看護学実習</b>
栄養に関する演習・実験・実習科目	→ <b>栄養演習・実験・実習</b>

〇〇学の基礎となる科目 → 〇〇基礎

電気電子工学の基礎となる科目 → 電気電子工学基礎

工学の基礎となる科目 → 工学基礎

その他

工学及び周辺技術等に関する科目 → 工学周辺

専攻分野「〇〇学」の他の専攻区分の専門科目 → 他専攻専門

### 「授業科目名」欄

② 単位修得証明書（成績証明書）の記載どおり正確に入力してください。

修得した機関ごとにまとめて入力してください。

「授業科目名」が同一であっても、修得した機関、修得時期が異なる場合は、別行に入力してください。

単位修得証明書（成績証明書）が「開封無効」となっている場合でも、開封して必ず中身を確認してください。

### 「修得した機関別の単位数」欄

③ 単位修得証明書（成績証明書）の記載どおり正確に入力してください。

修得した機関の別に注意して転記してください。

※授業科目名や単位数は、現行のカリキュラムではなく、ご自身が在籍していた当時のものを入力してください。

### 「授業の方法」欄

④ 次表の略称を用いて入力してください。プルダウンリストから選択することも可能です。

授業の方法	講義	演習	実験	実習	実技	その他
入力の仕方	講	演	験	習	技	他

注) 印刷教材および放送による授業 → 「講義」

卒業論文、卒業研究、卒業制作等 → 「その他」

### 「修得時期」欄

⑤ 単位修得証明書（成績証明書）の記載どおり正確に入力してください。なお、修得した学年のみわかる場合は、その年の年度末としてください。

(例：平成29年4月入学1年次修得→平成30年3月修得→30・3)

## 「修得した機関」欄

⑥ 次表のように入力してください。

機関の別	入力形式	例
短期大学・ 高等専門学校	学校名・学科名	〇〇短期大学〇〇学科 〇〇高等専門学校〇〇学科
専門学校	学校名・専門課程名・学科名	〇〇専門学校〇〇専門課程〇〇学科 ※ 専門課程名が不明の場合には、入力しなくてもかまいません。
高等学校等 専攻科	学校名・専攻科・専攻名	〇〇高等学校専攻科〇〇専攻 〇〇中等教育学校専攻科〇〇専攻 〇〇特別支援学校専攻科〇〇専攻
認定専攻科	学校名・専攻科・専攻名	〇〇短期大学専攻科〇〇専攻
大学	学校名・学部名	〇〇大学〇〇学部 ※ 「第二部」,「通信教育課程」等は、単位修得証明書のとおり入力し、省略しないでください。
大学院	学校名・研究科名	〇〇大学大学院〇〇研究科

## 「小計・群計・合計」欄

⑦ ひとつの区分が終わったら、その次の行にその区分の「小計」を入力してください。

⑧ A群, B群およびC群(またはA-1群, A-2群等)などにグループ分けされている場合は、各群の最後の行に「〇群計」として入力してください。

※ただし、申請する専攻の区分ごとの修得単位の審査の基準に「群」が設けられていない場合は入力不要です。

⑨ 「専門科目」,「関連科目」,「専攻に係る単位以外の単位」の「合計」はそれぞれ、「内訳表1」,「内訳表2」,「内訳表3」の最終ページ、一番下の行に入力してください。

### 【重要】

申告していない単位は審査の対象外となります。申請後に単位を追加で申告することはできません。修得単位の審査において、授業科目の区分は申告どおりの判定にならない場合がありますので、審査に必要と考えられる単位はすべて申告してください。

(5) 第3区分に該当し、大学のみで単位を修得した場合は、すべて「大学」欄に入力してください。(詳しくはp.32参照)

(6) 専攻科修了見込みでの申請の場合、修得見込みの単位については、次のとおり入力してください。(詳しくはp.33参照)

ア 修得見込単位数は、上段及び下段に同じ数字を入力してください。自動的に下段の数字が内数として( )書きで表示されます。

イ 修得見込みの授業科目名を入力した行の左側欄外には自動的に「見」印が表示されます。

7 「単位修得状況等申告書」の「総括表」(第2表, 第3表)作成上の注意  
 (作成例: 第1・2区分) ①~⑧ウ, ⑫については, p.31~32参照。

※整理番号			
<b>単位修得状況等申告書(平成30年度 10 月期申請)</b>			
<b>【総括表】</b>			
第1表			
氏名	学園 修子 ( 神保 )		2
専攻分野の名称	看護学	専攻の区分	看護学
		通算学修期間	4 年 月
学	学校名	入学の時期	卒業等の時期
	〇〇専門学校▽▽専門課程△△学科	平成 26 年 4 月入学	平成 29 年 3 月 卒業 修了 退学 飛び級
		平成 年 月入学	平成 年 月 卒業 修了 修了見込 退学 在学中
		平成 年 月入学	平成 年 月 卒業 修了 修了見込 退学 在学中
(科目等履修生としての学修期間)			
歴	□□□大学☆☆☆学部	平成 29 年 4 月入学	平成 30 年 3 月 修了
		平成 年 月入学	平成 年 月 修了
		平成 年 月入学	平成 年 月 修了
		平成 年 月入学	平成 年 月 修了

第2表				
	短大, 高専, 専門学校等で修得した単位	基礎資格を有する者に該当した後に修得した単位 認定専攻科の単位		合計
専攻に係る単位	専門科目の単位	a 61	b 2	63
	関連科目の単位	20	20	40
小計	81	c	d 22	e 103
専攻に係る単位以外の単位	16		f 15	31
合計	97	g	h 37	i 134
[うち外国語の単位]	[ 3 ]	[ ]	[ 2 ]	[ 5 ]

第3表			
	専攻に係る授業科目の区分	小計	合計
専攻に係る単位	A群 基礎看護学に関する科目	14	63
	A群 母性看護学に関する科目	4	
	A群 小児看護学に関する科目	4	
	A群 成人看護学に関する科目	6	
	A群 老人看護学に関する科目	4	
	A群 精神看護学に関する科目	4	
	A群 地域看護学に関する科目	4	
	B群 看護学に関する実習科目	23	
関連科目の単位	医学に関する科目	23	40
	保健学に関する科目	12	
	社会福祉学に関する科目	3	
	医療情報科学に関する科目	2	

(1) 「総括表」の「第2表」欄、「第3表」欄は、内訳表を作成した後に入力してください。  
(詳しくはp.26～参照)

(2) 「第2表」欄について

① 「短大、高専、専門学校等で修得した単位」, 「認定専攻科の単位」, 「大学の単位」欄については、内訳表1～3の「合計」欄の単位数を転記してください。その際、修得した機関の別に注意して転記してください。

② 第3区分に該当し、大学のみで単位を修得した場合は、すべて「第2表」欄の「大学の単位」欄に入力してください。(詳しくはp.32参照)

③ 「第2表」欄の「小計」, 「合計」欄を検算してください。

④ 「a + b」, 「c + d」, 「e + f」, 「g + i」欄を検算し、「h」欄(62単位以上)とともに単位修得の要件を満たしていることを確認してください。

(⇒学士への途

第1区分 …… p.10～12

第2区分 …… p.10, 13～14

第3区分 …… p.10, 15～16)

※赤色のセルが残っている場合、単位修得の要件を満たしていないため、申請できません。

⑤ 外国語の単位を内数で [ ] 内に入力してください。

⑥ 専攻科修了見込みでの申請(⇒学士への途 p.41)は、修得見込み単位数を各欄の右側に入力してください。内数として自動的に( )書きで表示されます。(詳しくはp.33参照)

⑦ 入力誤りなどが無いことを必ず確認してください。

(3) 「第3表」欄について

⑧ 「第3表」の各欄については、次のとおり内訳表から転記してください。

ア 「内訳表1」, 「内訳表2」に入力した「専攻に係る授業科目の区分」ごとの「小計」欄の単位数を転記してください。

イ 「内訳表1」の「各群計」欄と一致していることを確認してください。

※申請する専攻の区分ごとの修得単位の審査の基準に「群」が設けられている場合のみ。

ウ 「内訳表1」, 「内訳表2」の「合計」欄の単位数と一致していることを確認してください。

⑨ 「専攻の区分ごとの修得単位の審査の基準」(⇒学士への途 p.51～119)を満たしていることを確認してください。

※赤色のセルが残っている場合、単位修得の要件を満たしていないため、申請できません。

※右下・左下に赤字のコメントが表示されている場合は、単位修得の要件を満たしていないか、入力内容に不備があります。コメントの内容を確認してください。

⑩ 専攻科修了見込みでの申請（⇒**学士への途 p.41**）は、修得見込み単位数を小計欄の右側に入力してください。内数として自動的に（ ）書きで表示されます。（詳しくは**p.33 参照**）

⑪ 入力誤りなどが無いことを必ず確認してください。

⑫ **複数回にわたる学位取得（⇒**学士への途 p.12, 14, 16, 35**）に該当する方は**、直近の学位取得時より後に修得した大学、認定専攻科または大学専攻科の単位のうち、「内訳表1」に分類した専門科目の単位数、「内訳表2」に分類した関連科目の単位数、および合計の単位数を入力し、この要件を満たしていることを確認してください。

## （作成例：第3区分）

※整理番号

### 単位修得状況等申告書(平成30年度 4 月期申請)

【総括表】

第1表

氏名	学位 太郎 ( )		3
専攻分野の名称	工学	専攻の区分	電気電子工学
		通算学修期間	4 年 月

学	学校名	入学の時期	卒業等の時期
	〇〇〇大学△△△学部	平成 21 年 4 月入学	平成 24 年 3 月卒業 修了(退学) 飛び級
		平成 年 月入学	平成 年 月卒業 修了 修了見込 退学 在学中
		平成 年 月入学	平成 年 月卒業 修了 修了見込 退学 在学中
(科目等履修生としての学修期間)			
歴	◇◇◇大学▽▽▽学部	平成 29 年 4 月入学	平成 30 年 3 月修了
		平成 年 月入学	平成 年 月修了
		平成 年 月入学	平成 年 月修了
		平成 年 月入学	平成 年 月修了

第2表

専攻に係る単位	短大、高専、専門学校等で修得した単位 単位 a	基礎資格を有する者に該当した後に修得した単位		合計 単位	計 単位
		認定専攻科の単位 単位 b	大学の単位 単位 c		
専門科目の単位	—	86	86	a + b 1 単位以上	86
関連科目の単位	—	30	30	c + d 31 単位以上 (16) *	116
小計	—	116	116	e + f 62 単位以上 (31) *	127
専攻に係る単位以外の単位	—	11	11	g + i 24 単位以上	41
合計 [うち外国語の単位]	—	127	127		

第3表

124 単位以上を  
申告すること

(作成例：専攻科修了見込みで申請する場合)

第2表

専攻に係る単位	短大、高専、専門学校等で修得した単位	基礎資格を有する者に該当した後に修得した単位			合計	計
		認定専攻科の単位	大学の単位			
専門科目の単位	20	62 (30)	4 (2)	86 (32)	a + b 1 単位以上	66 (32)
関連科目の単位	34		8 (2)	42 (2)	c + d 31 単位以上	74 (34)
小計	54	62 (30)	12 (4)	128 (34)	(16) * e + f 62 単位以上	80 (36)
専攻に係る単位以外の単位	30		6 (2)	36 (2)	(31) * g + i 24 単位以上	78 (4)
合計	84	62 (30)	18 (6)	164 (36)		
[うち外国語の単位]	[ 8 ]	[ ]	[ ]	[ 以上 8 ]		

修得見込みの単位数を、各欄の右側に入力すること。内数として自動的に ( ) 書きで表示されます。

第3表

専攻に係る単位	専攻に係る授業科目の区分	小計	合計	各群計	
				A 群計	B 群計
専門科目の単位	A群 電気電子工学の基礎となる科目	16 (8)	86 (32)	62 (28)	24 (4)
	A群 電気工学に関する科目	12 (8)			
	A群 電子工学に関する科目	16			
	A群 情報通信工学に関する科目	18 (12)			
	B群 電気電子工学に関する実験・実習科目	24 (4)			
関連科目の単位	工学の基礎となる科目	14	42 (2)		
	工学及び周辺技術等に関する科目	28 (2)			

↓ 該当者のみ記入  
複数回にわたる学位取得  
小計 合計  
専攻科  
後に修得

【内訳表1】 専門科目の単位

氏名: 小平 学 ( )

見  
見

専攻に係る授業科目の区分	授業科目名	修得した機関別の単位数				授業の時期(年・月)	修得した機関	※
		短大、高専、専門学校等	認定専攻科	大学	計			
A群 電気電子工学基礎	電気回路基礎	4				講 28・3	〇〇短期大学△△学科	
	電気回路演習	2				演 28・3	〇〇短期大学△△学科	
	.....						.....	
	電子回路		2 (2)			講 31・3	〇〇短期大学専攻科 □□専攻	
	通信計測			2 (2)		講 31・3	◇◇◇大学▽▽▽学部	
	小計	8	6 (6)	2 (2)	16 (8)			
A群 電気工学	電気機器学	2				講 28・9	〇〇短期大学△△学科	
	エネルギー工学			2		講 30・3	☆☆☆大学〇〇学部	

修得見込みの単位数は、上段及び下段に同じ数字を入力してください。自動的に下段の数字が内数として ( ) 書きで表示されます。

[内訳表1] ( 2 枚中 1 枚目)

合計	20	62 (30)	4 (2)	86 (32)				
----	----	---------	-------	---------	--	--	--	--

[内訳表1] ( 2 枚中 2 枚目)



こちらは見本です。実際申請する場合は、必ず冊子をお取り寄せください。

※ 整理番号		
① 申請年月日	平成30年 4月	日

## 学位授与申請書（平成30年度4月期） （郵送申請用）

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構長 殿

②申請者氏名  
(目 筆)

旧姓

( )

※ここに記入した氏名が学位記に記載されますので楷書で丁寧に記入してください。

関係書類を添え、学士の学位の授与を申請します。

この申請書及び単位修得状況等申告書の記載内容は事実と相違ありません。

私は、大学の学部学生として在学していません。

私が提出する学修成果は、「新しい学士への途」に示された要件に沿って、「学修成果」作成の際に留意すべき倫理的配慮にも基づき、私の責任において作成したものです。

③見込・再申請			④専攻分野の名称		専攻の区分		⑤受験希望地区		
見込	再	見込継続					小論文		面接
							東京	大阪	東京

※該当する場合のみ○で囲んでください。

⑥フリガナ	姓と名の間は1コマあけ、濁点等は1コマとして使用										⑧性別	⑨生年月日				⑭学位審査手数料 受付証明書 貼付欄  申請には、学位審査手数料受付証明書の貼付が必要です。  巻末につづり込んである専用の払込用紙で、学位審査手数料を払い込み、その証明書を貼付してください。  ※払込みの際は必ず金融機関の窓口で行い、ATMは利用しないでください。		
												男	元	号	年		月	日
⑦氏名											女	S	H					
⑪現住所	郵便番号				都道府県		都道府県		⑩本籍		都道府県		外国籍の場合(国名)					
	都道府県				都道府県		都道府県		都道府県		都道府県		都道府県					
住所	フリガナ																	
	郡市区町村丁目・番地 団地・棟号室・方等										フリガナ							
⑫連絡先電話番号	□自宅		-		-		(内線)		□昼		□夜		ファクシミリ					
	□携帯電話		-		-		(内線)		□昼		□夜		□自宅		-		-	
	□勤務先		-		-		(内線)		□昼		□夜		□勤務先		-		-	
	□通学先		-		-		(内線)		□昼		□夜		□通学先		-		-	
	□( )		-		-		(内線)		□昼		□夜		□( )		-		-	
⑬メールアドレス																		



こちらは見本です。実際申請する場合は、必ず冊子をお取り寄せてください。

※ 整理番号		
① 申請年月日	平成30年	月 日

## 学位授与申請書（平成30年度10月期） （郵送申請用）

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構長 殿

②申請者氏名  
(白筆)

旧姓

( )

※ここに記入した氏名が学位記に記載されますので楷書で丁寧に記入してください。

関係書類を添え、学士の学位の授与を申請します。

この申請書及び単位修得状況等申告書の記載内容は事実と相違ありません。

私は、大学の学部学生として在学していません。

私が提出する学修成果は、「新しい学士への途」に示された要件に沿って、「学修成果」作成の際に留意すべき倫理的配慮にも基づき、私の責任において作成したものです。

③見込・再申請			④専攻分野の名称		専攻の区分		⑤受験希望地区		
見込	再	見込継続					小論文		面接
							東京	大阪	東京

※該当する場合のみ○で囲んでください。

⑥フリガナ		姓と名の間は1コマあけ、濁点等は1コマとして使用				⑧性別		⑨生年月日				⑭学位審査手数料受付証明書 貼付欄	
						男		元号 年 月 日				申請には、学位審査手数料受付証明書の貼付が必要です。  巻末につづり込んである専用の払込用紙で、学位審査手数料を払い込み、その証明書を貼付してください。  ※払込みの際は必ず金融機関の窓口で行い、ATMは利用しないでください。	
⑦氏名						女		S H					
⑩現住所		郵便番号		都道府県		都道府県		外国籍の場合					
		フリガナ											
		フリガナ											
⑫連絡先電話番号		□自宅		- - (内線)		□昼		□夜		ファクシミリ			
		□携帯電話		- -		□昼		□夜		□自宅		- -	
		□勤務先		- - (内線)		□昼		□夜		□勤務先		- -	
		□通学先		- - (内線)		□昼		□夜		□通学先		- -	
		□( )		- - (内線)		□昼		□夜		□( )		- -	
⑬メールアドレス													



# 単位修得状況等申告書 (平成30年度 月期申請)

【総括表】

第1表

氏名	( )				
専攻分野の名称		専攻の区分		通算学修期間	年 月
学	学校名	入学の時期		卒業等の時期	
		年 月 入学	年 月 卒業	修了	退学 飛び級
		年 月 入学	年 月 卒業	修了	修了見込 退学 在学中
		年 月 入学	年 月 卒業	修了	修了見込 退学 在学中
歴	(科目等履修生としての学修期間)				
		年 月 入学	年 月 修了		
		年 月 入学	年 月 修了		
		年 月 入学	年 月 修了		

第2表

専攻に係る単位		短大、高専、専門学校等で修得した単位	基礎資格を有する者に該当した後に修得した単位 認定専攻科の単位	大学の単位	合計	計	
専門科目の単位	単位	a	単位	b	単位	a + b	単位
関連科目の単位	単位				g	1 単位以上	
小計		c		d	h	c + d 31 (16)* 単位以上	
専攻に係る単位以外の単位					i	e + f 62 (31)* 単位以上	
合計 [ うち外国語の単位 ]	[ ]	e	[ ]	f	[ ]	g + i 24 単位以上	

\* < > 内の単位数は第2区分の場合

第3表

		専攻に係る授業科目の区分	小計	合計	各群計		
専攻に係る単位	専門科目の単位		単位	単位	群計	単位	
					群計		
					群計		
					群計		
					群計		
	関連科目の単位			単位	単位		

複数回にわたる学位取得 (該当者のみ)		
	小計	合計
後に直近の学位取得時より 修得した大学等単位	専門科目の単位 j	j+k
	1以上 k	
関連科目の単位		16以上







1878587

こちらは見本です。実際申請する場合は、必ず冊子をお取り寄せください。

東京都小平市学園西町一―二九―一

独立行政法人

大学改革支援・学位授与機構

学位審査課 行

書留

学位授与申請書類 在中  
(郵送申請用)

キリトリセン

書留引受番号

見込・再申請		
見込	再	見込継続

申請者	住所	〒		
	氏名	電話番号		
	専攻分野の名称	専攻の区分		

※					
---	--	--	--	--	--

※この欄には記入しないでください。

キリトリセン

- 上記の宛名用紙を切り取り、申請書類等を入れた封筒の表面に必ず貼付してください。
- 郵便局の窓口で書留扱いにして送付してください。（「書留郵便物受領書」を保管しておいてください。）
- 郵便ポストに投函してはいけません。
- 見込・再申請欄は、該当する場合のみ該当箇所を○で囲んでください。（該当しない場合は記入しないでください。）



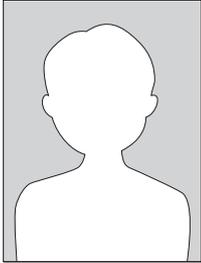
## □ 電子申請・郵送申請共通書類

## ○ 電子申請・郵送申請共通書類の記入方法等

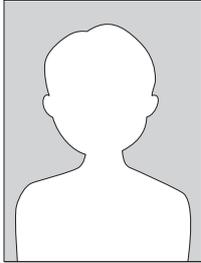
### 1 「写真票」, 「受験票」 および 「到着お知らせはがき」

- (1) 写真票と受験票は太枠内のみ記入してください。
- (2) ※印の各欄は記入しないでください。
- (3) 写真票と受験票には同一の写真を使用し、写真の裏には、専攻の区分、氏名を記入してください。
- (4) 到着お知らせはがきは、表面に郵便番号、住所および氏名を記入してください。
- (5) 小論文試験の場合は、「東京」、「大阪」のいずれか希望する試験場を○で囲んでください。また、面接試験の場合は、「東京」を○で囲んでください（面接試験は東京地区のみ）。
- (6) 面接（東京）を選択できるのは、専攻の区分「音楽」「美術」「演劇」の申請者のみとなります。

#### (記入例)

平成30年度 10月期		写 真 票		
※ 受験番号				
※ 整理番号				
専攻分野 の名称	看護学			
専攻の 区 分	看護学			
試験場	小論文(東京・ <b>大阪</b> )	面接(東京)		
フリガナ	ガクエン シュウコ			
氏 名	学 園 修 子		男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	
※ 備 考				

※印の欄には記入しないでください。

平成30年度 10月期		受 験 票		
※ 受験番号				
※ 整理番号				
専攻分野 の名称	看護学			
専攻の 区 分	看護学			
試験場	小論文(東京・ <b>大阪</b> )	面接(東京)		
氏 名	学 園 修 子		男 <input type="radio"/> 女 <input checked="" type="radio"/>	
※ 試験日時	平成 30 年 12 月 日			
	試験時間	<input type="checkbox"/> 小論文	<input type="checkbox"/> 10時30分～12時 <input type="checkbox"/> 14時30分～16時	
		<input type="checkbox"/> 面接	時 分～ 時 分 階	
集合時間	試験開始時間の30分前までに集合してください。			

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課  
〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1  
電話 042-307-1550

## 2 専修学校専門課程修了等証明書

「基礎資格を有する者」の区分が「専門学校を修了した者」(⇒学士への途p.1, p.37)に該当する場合は、必ず提出してください。(コピー不可)

※ 「専修学校専門課程修了等証明書」は機構指定の様式(→本冊子の巻末)での提出が必要です。同様の様式は、機構のウェブサイトからもダウンロードできます。

### 【ダウンロードの方法】

ア 機構のホームページにアクセスする。(詳しくはp.3参照)

イ 「学位の授与」→「学位授与申請に関する各種様式」を順にクリックする。

(平成30年3月末までは以下のとおりアクセスしてください。)

「事業紹介」→「学位授与事業」→「学位に関する申請書類等」を順にクリックする。

ウ イでクリックした後の画面をスクロールして、専修学校専門課程修了等証明書の様式をダウンロードする。

この様式のファイルは、Word・PDFの2種類があります。

また、「基礎資格を有する者」に該当することの証明書として、この他に「大学入学資格を証明する書類(高等学校の卒業証明書、高等学校卒業程度認定試験の合格証明書等)」が必要です。

## 3 高等学校等専攻科修了証明書および

### 「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト

「基礎資格を有する者」の区分が「一定の要件を満たす高等学校等専攻科を修了した者」に該当する場合は、必ず提出してください。(コピー不可)

なお、チェックリストは、以下のとおり3種類あります。

【別紙様式1】「高等学校または中等教育学校の後期課程の専攻科」【全日制または定時制】用

【別紙様式2】「高等学校または中等教育学校の後期課程の専攻科」【通信制】用

【別紙様式3】「特別支援学校の高等部の専攻科」用

※ 「高等学校等専攻科修了等証明書」および「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリストは機構指定の様式(→本冊子の巻末)での提出が必要です。同様の様式は、機構のウェブサイトからもダウンロードできます。

### 【ダウンロードの方法】

ア 機構のホームページにアクセスする。(詳しくはp.3参照)

イ 「学位の授与」→「学位授与申請に関する各種様式」を順にクリックする。

(平成30年3月末までは以下のとおりアクセスしてください。)

「事業紹介」→「学位授与事業」→「学位に関する申請書類等」を順にクリックする。

ウ イでクリックした後の画面をスクロールして、必要な様式をダウンロードする。

これらの様式のファイルは、Word・PDFの2種類があります。

また、「基礎資格を有する者」に該当することの証明書として、この他に「大学入学資格を証明する書類(高等学校の卒業証明書、高等学校卒業程度認定試験の合格証明書等)」が必要です。

## 4 学位審査手数料の払込みおよび学位審査手数料受付証明書

- (1) 本冊子の巻末につづり込んである平成30年度専用の払込用紙に必要事項を記入し、郵便局または銀行等の金融機関の窓口で学位審査手数料（32,000円）を払い込んでください。

**金融機関に備付けの払込（振込）用紙，ATMは利用しないでください。**

（窓口営業時間は、各金融機関によって異なりますので、注意してください。）

- (2) 払込みに必要な手数料は、申請者負担となります。また、お取扱いの金融機関によって手数料が異なりますので、注意してください。

なお、払込みにあたっては、「申請に必要な書類等一覧表」（→p.8または16）をご覧ください、申請に必要な書類等がすべて揃えられることを確認した上で払い込んでください。

- (3) 払込みできる期間は、次のとおり申請時期によって異なります。払込み後の申請時期の変更はできません。また、申請書類の受付期間とは違いますので、注意してください。

（払込期間後の払込みによる申請は、受理しません。）

4月期申請の払込期間 → 3月1日（木）から4月7日（土）

10月期申請の払込期間 → 9月1日（土）から10月5日（金）

- (4) 払込み手続の窓口で発行される、「学位審査手数料受付証明書」（コピー不可）を、「学位授与申請書」の「学位審査手数料受付証明書貼付欄」にのりなどでしっかりと貼付してください。

郵便振替払込金受領証 (振込金(非手数料)受領書)		郵便振替払込受付証明書 (お客さま用)	
口座番号 00170001	日付 278380	No.	金額 ¥32,000
振込先 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構	振込元 三井住友銀行 本店 電話 7992131	申請者氏名(フリガナ)	日振番号 00170-0-278380
金額 32000	手数料 000	申請者住所・氏名(フリガナ)	収入者名
特別取扱	受付局日附印		郵便局名

郵便振替払込受付証明書 (お客さま用) (申請者→郵便局→銀行→申請者) 学位審査手数料 受付証明書 No. 金額 ¥32,000
--

振込用紙の一番右になります。

- (5) 申請書類を受理した後は、いかなる理由があっても学位審査手数料は返還いたしません。

※ 受験番号	
写真 (40mm×30mm)	
・3か月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真をのり付けすること ・写真の裏に専攻の区分、氏名を記入しておくこと	
※ 整理番号	
専攻分野の名称	
専攻の区分	
試験場	小論文(東京・大阪) 面接(東京)
フリガナ	
氏名	男・女
※ 備考	

※ 受験番号	
写真 (40mm×30mm)	
・写真票と同一の写真を使用すること ・写真の裏に専攻の区分、氏名を記入しておくこと	
※ 整理番号	
専攻分野の名称	
専攻の区分	
試験場	小論文(東京・大阪) 面接(東京)
氏名	男・女
平成30年6月10日	
※ 試験日時	試験時間
	<input type="checkbox"/> 小論文 <input type="checkbox"/> 面接
□10時30分～12時 □14時30分～16時	
時 分～ 時 分	
階	
集合時間	試験開始時間の30分前までに集合してください。

※印の欄には記入しないでください。

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課  
〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1  
電話 042-307-1550



郵便はがき

□□□□□□□□

← 学位授与申請書類「到着お知らせはがき」

表面…郵便番号・住所・氏名を記入してください。

上側の写真票・受験票とを切り離さずに(\*)お送りください。

(\*) 修得単位が「不可」の場合での再申請は、写真票・受験票の提出は必要ありませんので、「到着お知らせはがき」に郵便番号、住所、氏名を記入し、本紙下側だけを切り取ってお送りください。

住所

都道府県

氏名

様

こちらは見本です。実際申請する場合は、必ず冊子をお取り寄せください。

# 受験上の注意

- 1 試験室は当日お知らせします。
- 2 試験場への車の乗り入れはできません。
- 3 携行品（必ず持参するもの）
  - (1) 小論文試験受験者
    - ① 受験票
    - ② 筆記用具（HBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム）
  - (2) 専攻の区分「音楽」の面接試験受験者
    - ① 受験票
  - (3) 専攻の区分「美術」の面接試験受験者
    - ① 受験票
    - ② 作品（申請時に写真を提出した作品の実物）
    - ③ ポートフォリオ
    - ④ 制作ノート
  - (4) 専攻の区分「演劇」の面接試験受験者
    - ① 受験票

（これまでに関わった演劇作品に関する資料を持参することができます。（紙媒体・写真に限る））
- 4 詳細については、別途「受験者心得」を参照すること。

切り離さないでください。

切り離さないでください。

## 学位授与申請書類の到着のお知らせ

あなたからの学位授与申請書類が、当機構に到着しましたので、お知らせいたします。

### 【申請内容の確認が必要な場合】

「学位授与申請書 ⑩連絡先電話番号」へ連絡をいたします。

### 【受験票、判定結果の送付】

「学位授与申請書 ⑩現住所」へお送りいたします。

転居等による住所変更（予定含む）の際は、速やかにお知らせください。

以下のURLから「住所変更届」をダウンロードできますので、郵送またはFAXでお送りください。

URL [http://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/shinseishiryoku/index.html](http://www.niad.ac.jp/n_gakui/shinseishiryoku/index.html)

当機構ウェブサイトは平成 30 年 4 月 1 日よりリニューアルを予定しています。URL の変更等につきましては、別途ウェブサイトにてお知らせします。

「新しい学士への途」は今後の手続等で必要になりますので大切に保管しておいてください。

## 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

TEL 042-307-1550（お問合せ）

FAX 042-307-1555

※ 受験番号	
※ 整理番号	
専攻分野の名称	
専攻の区分	
試験場	小論文(東京・大阪) 面接(東京)
フリガナ	
氏名	

**写真**  
(40mm×30mm)

- ・3か月以内に撮影した無帽、正面上半身の写真をのり付けすること
- ・写真の裏に専攻の区分、氏名を記入しておくこと

※ 受験番号	
※ 整理番号	
専攻分野の名称	
専攻の区分	
試験場	小論文(東京・大阪) 面接(東京)
氏名	

**写真**  
(40mm×30mm)

- ・写真票と同一の写真を使用すること
- ・写真の裏に専攻の区分、氏名を記入しておくこと

※ 備考	
------	--

平成30年12月 日				
※ 試験日時	試験時間			
	<input type="checkbox"/> 小論文 <table border="1"> <tr><td><input type="checkbox"/> 10時30分～12時</td></tr> <tr><td><input type="checkbox"/> 14時30分～16時</td></tr> <tr><td>時 分～ 時 分</td></tr> <tr><td>階</td></tr> </table>	<input type="checkbox"/> 10時30分～12時	<input type="checkbox"/> 14時30分～16時	時 分～ 時 分
<input type="checkbox"/> 10時30分～12時				
<input type="checkbox"/> 14時30分～16時				
時 分～ 時 分				
階				
集合時間	試験開始時間の30分前までに集合してください。			

※印の欄には記入しないでください。

独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課  
〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1  
電話 042-307-1550



郵便はがき

--	--	--	--	--	--	--

← 学位授与申請書類「到着お知らせはがき」

表面…郵便番号・住所・氏名を記入してください。

上側の写真票・受験票とを切り離さずに(\*)お送りください。

住所

都道府県

氏名

様

(\*) 修得単位が「不可」の場合での再申請は、写真票・受験票の提出は必要ありませんので、「到着お知らせはがき」に郵便番号、住所、氏名を記入し、本紙下側だけを切り取ってお送りください。

**こちらは見本です。実際申請する場合は、必ず冊子をお取り寄せください。**

# 受験上の注意

- 1 試験室は当日お知らせします。
- 2 試験場への車の乗り入れはできません。
- 3 携行品（必ず持参するもの）
  - (1) 小論文試験受験者
    - ① 受験票
    - ② 筆記用具（HBの黒鉛筆（シャープペンシルも可）、消しゴム）
  - (2) 専攻の区分「音楽」の面接試験受験者
    - ① 受験票
  - (3) 専攻の区分「美術」の面接試験受験者
    - ① 受験票
    - ② 作品（申請時に写真を提出した作品の実物）
    - ③ ポートフォリオ
    - ④ 制作ノート
  - (4) 専攻の区分「演劇」の面接試験受験者
    - ① 受験票

（これまでに関わった演劇作品に関する資料を持参することができます。（紙媒体・写真に限る））
- 4 詳細については、別途「受験者心得」を参照すること。

切り離さないでください。

切り離さないでください。

## 学位授与申請書類の到着のお知らせ

あなたからの学位授与申請書類が、当機構に到着しましたので、お知らせいたします。

### 【申請内容の確認が必要な場合】

「学位授与申請書 ⑩連絡先電話番号」へ連絡をいたします。

### 【受験票、判定結果の送付】

「学位授与申請書 ⑩現住所」へお送りいたします。

転居等による住所変更（予定含む）の際は、速やかにお知らせください。

以下のURLから「住所変更届」をダウンロードできますので、郵送またはFAXでお送りください。

URL [http://www.niad.ac.jp/n\\_gakui/shinseishiryoku/index.html](http://www.niad.ac.jp/n_gakui/shinseishiryoku/index.html)

当機構ウェブサイトは平成30年4月1日よりリニューアルを予定しています。URLの変更等につきましては、別途ウェブサイトにてお知らせします。

「新しい学士への途」は今後の手続等で必要になりますので大切に保管しておいてください。

## 独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構 管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

TEL 042-307-1550（お問合せ）

FAX 042-307-1555

# 専修学校専門課程修了等証明書

(独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構)

氏名	生年 月日	昭和・平成	年	月	日
----	----------	-------	---	---	---

上記の者は、下記の課程を修了したことを証明します。

記

学校・学科名	学校		科				
	上記の課程は上記の者が修了した当時、学校教育法（昭和22年法律第26号）第125条に掲げられた専修学校専門課程であり、 (次の□欄のいずれかに☑印を記入してください。)						
	<input type="checkbox"/>	<b>【1】</b> 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700単位時間以上 (単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が62単位以上) の課程である。(以下の【2】に該当する課程を除く。)					
<input type="checkbox"/>	<b>【2】</b> 修業年限が3年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が2,550単位時間以上 (単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が93単位以上) の課程である。						
専修学校専門 課程認可日	昭和・平成 年 月 日						
入学・修了 年 月 日	昭和・平成	年	月	日	入学	修業	年制
	昭和・平成	年	月	日	修了	年限	

平成 年 月 日

学校所在地

学校名

学校長名

印

# (記入例)

**専修学校専門課程修了等証明書**  
(独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構)

氏 名	○ ○ ○ ○	生年 月 日	(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日		
-----	---------	-----------	---------------------	--	--

上記の者は、下記の課程を修了したことを証明します。

記

	○○○○○○ <b>専門</b> 学校 (○○ <b>専門課程</b> )○○○○科								
	上記の課程は上記の者が修了した当時、学校教育法（昭和22年法律第26号）第125条に掲げられた専修学校専門課程であり、 （次の□欄のいずれかに <b>レ</b> 印を記入してください。）								
学校・学科名	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20px; text-align: center;">□</td> <td> <b>【1】</b>                      修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700単位時間以上（単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が62単位以上）の課程である。（以下の【2】に該当する課程を除く。）                 </td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;"><input checked="" type="checkbox"/></td> <td> <b>【2】</b>                      修業年限が3年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が2,550単位時間以上（単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が93単位以上）の課程である。                 </td> </tr> </table>	□	<b>【1】</b> 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700単位時間以上（単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が62単位以上）の課程である。（以下の【2】に該当する課程を除く。）	<input checked="" type="checkbox"/>	<b>【2】</b> 修業年限が3年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が2,550単位時間以上（単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が93単位以上）の課程である。				
□	<b>【1】</b> 修業年限が2年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が1,700単位時間以上（単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が62単位以上）の課程である。（以下の【2】に該当する課程を除く。）								
<input checked="" type="checkbox"/>	<b>【2】</b> 修業年限が3年以上で、かつ、修了に必要な総授業時数が2,550単位時間以上（単位制又は通信制の学科においては、修了に必要な総単位数が93単位以上）の課程である。								
専修学校専門課程認可日	(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日								
入学・修了年月日	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 40%;">(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日</td> <td style="width: 10%;">入 学</td> <td style="width: 10%;">修 業</td> <td style="width: 40%;"></td> </tr> <tr> <td>(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日</td> <td>修 了</td> <td>年 限</td> <td style="text-align: center;">○ 年制</td> </tr> </table>	(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日	入 学	修 業		(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日	修 了	年 限	○ 年制
(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日	入 学	修 業							
(昭和)・平成 ○○年 ○○月 ○○日	修 了	年 限	○ 年制						

平成 ○○年 ○○月 ○○日

学校所在地 ○○県○○市1-2-3  
 学 校 名 学校法人○○ ○○専門学校  
 学 校 長 名 学校長 ○○ ○○

印

学校名等の変更があった場合は在学時のものを記入してください。

専門課程の名称は省略せず、正しく記入してください。

【2】に該当する課程の場合には必ず【2】の□欄に✓印を付けてください。

学校の設置認可日ではなく、専門課程としての認可日を記入してください。「専修学校専門課程制度」は、法律の施行日が昭和51年1月11日であるため、これより前の日付での証明はできません。

※ 「専修学校専門課程修了等証明書」の様式は機構のウェブサイトからダウンロードできます。

### 【ダウンロードの方法】

ア 機構のホームページにアクセスする。

イ 「学位の授与」→「学位授与申請に関する各種様式」を順にクリックする。  
 （平成30年3月末までは以下のおりアクセスしてください。）

「事業紹介」→「学位授与事業」→「学位に関する申請書類等」を順にクリックする。

ウ イでクリックした後の画面をスクロールして、専修学校専門課程修了等証明書をダウンロードする。

これらの様式のファイルは、Word・PDFの2種類があります。

# 高等学校等専攻科修了証明書

(独立行政法人 大学改革支援・学位授与機構)

氏名		生年 月日	昭和・平成	年	月	日
----	--	----------	-------	---	---	---

上記の者は、下記の課程を修了したことを証明します。

記

	学校	専攻科			
学校・ 専攻科名	※以下の該当する□欄のいずれかに $\blacktriangleright$ 印を記入してください。 上記の課程は上記の者が修了した当時、学校教育法第 58 条の 2 に規定 (又は、規定を準用)する、				
	<input type="checkbox"/>	高等学校の専攻科			
	<input type="checkbox"/>	中等教育学校の後期課程の専攻科			
	<input type="checkbox"/>	特別支援学校の高等部の専攻科			
	であり、次の文部科学大臣が定める基準を満たしている課程である。				
	<input type="checkbox"/>	高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準(平成 28 年文部科学省告示第 63 号)			
	<input type="checkbox"/>	特別支援学校の高等部の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準(平成 28 年文部科学省告示第 64 号)			
専攻科 設置 年月日	昭和・平成 年 月 日 設置				
入学・修了 年月日	昭和・平成 年 月 日 入学	修業 年限	<input type="checkbox"/>	全日制	年
	昭和・平成 年 月 日 修了		<input type="checkbox"/>	定時制	
			<input type="checkbox"/>	通信制	

平成 年 月 日

学校所在地

学校名

学校長名

印

<参考>

○高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準の概要（全日制の場合）

【修業年限】 2年以上

（学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第100条の2第1号）

【修了要件】 62単位以上

（平成28年文部科学省告示第63号）

※ 授業科目の単位数を定めるに当たっては、1単位の授業科目を45時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、専攻科の教育の特性を踏まえつつ、授業の方法に応じ、当該授業による教育効果、授業時間外に必要な学修等を考慮して、次の基準により単位数を計算するものとする。

- ① 講義及び演習については、15時間から30時間までの範囲で高等学校が定める時間の授業をもって1単位とする。
- ② 実験、実習及び実技については、30時間から45時間までの範囲で高等学校が定める時間の授業をもって1単位とする。ただし、音楽等の学科における個人指導による実技の授業については、高等学校が定める時間の授業をもって1単位とすることができる。
- ③ 1の授業科目について、講義若しくは演習又は実験、実習若しくは実技のうち2以上の方法の併用により行う場合については、その組合せに応じ、上の①、②に規定する基準を考慮して高等学校が定める時間の授業をもって1単位とする。

【教員組織】 専攻科の全日制的課程における教員の数は、（文部科学省告示の）別表第1に定める数以上とすること。

教員の数の半数以上は、専任の教員（専ら当該専攻科における教育に従事する校長が教員を兼ねる場合にあっては、当該校長を含む。以下同じ。）でなければならないこと。ただし、当該専任の教員の数は3人を下ることができないこと。

（平成28年文部科学省告示第63号）

【施設】 専攻科を置く高等学校の校舎には、当該専攻科の目的、生徒数、課程又は学科に応じ、専ら当該専攻科の授業の用に供する教室その他必要な附帯施設を備えなければならないこと。

専攻科を置く高等学校は、当該専攻科の目的に応じ、専ら当該専攻科の授業の用に供する実習場その他の必要な施設を確保しなければならないこと。

（平成28年文部科学省告示第63号）

## 「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト

「高等学校または中等教育学校の後期課程の専攻科」【全日制または定時制】用

証明を受ける者の氏名		生年月日	昭和・平成 年 月 日
------------	--	------	-------------

上記の者に対して、当機構指定の様式「高等学校等専攻科修了証明書」を発行するに当たって、「高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準（平成 28 年文部科学省告示第 63 号）」に基づいて、下記の基準を確認しています。

## 記

基準	該当する規定 (告示第 63 号)	確認した基準の □欄に <b>レ印</b> を記入 してください。	摘要※ (全日制または定時制)
単位の授与	第 2 条	<input type="checkbox"/>	—
各授業科目の 単位数	第 3 条	<input type="checkbox"/>	【1 単位修得に要する授業時間】 講義及び演習 _____ 時間 実験、実習及び実技 _____ 時間 その他 ( ) _____ 時間
授業の方法	第 4 条	<input type="checkbox"/>	【教室等以外での履修の割合】 _____ %
修了要件	第 5 条	<input type="checkbox"/>	_____ 2 年以上 _____ 単位
教員数	第 9 条	<input type="checkbox"/>	( ) 人うち専任 ( ) 人 学科の収容定員 ( ) 人 ※本人修了時
教員の資格	第 11 条	<input type="checkbox"/>	—
校舎等	第 12 条	<input type="checkbox"/>	—
教室の面積	第 13 条	<input type="checkbox"/>	—

※摘要欄には、各基準を満たすことを示すため、下線または括弧書きに数値等を記入してください。

平成 年 月 日

学校所在地

学 校 名

学 校 長 名

印



## 「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト

「高等学校または中等教育学校の後期課程の専攻科」【通信制】用

証明を受ける者の氏名		生年 月日	昭和・平成 年 月 日
------------	--	----------	-------------

上記の者に対して、当機構指定の様式「高等学校等専攻科修了証明書」を発行するに当たって、「高等学校の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入学することができるものの課程の基準（平成 28 年文部科学省告示第 63 号）」に基づいて、下記の基準を確認しています。

## 記

基準	該当する規定 (告示第 63 号)	確認した基準の □欄に <b>レ印</b> を記入 してください。	摘要※ (通信制)
単位の授与	第 2 条	<input type="checkbox"/>	—
各授業科目の 単位数	第 3 条	<input type="checkbox"/>	【1 単位修得に要する授業時間】 講義及び演習 _____ 時間 実験、実習及び実技 _____ 時間 その他 ( _____ ) _____ 時間
授業の方法	第 4 条	<input type="checkbox"/>	【教室等以外での履修の割合】 _____ %
通信教育用学習 図書等による授 業科目の単位数	第 6・7 条	<input type="checkbox"/>	—
修了要件	第 8 条	<input type="checkbox"/>	_____ 2 年以上 _____ 単位 【面接指導による授業時数】 _____ 単位時間
教員数	第 10 条	<input type="checkbox"/>	( ) 人うち専任 ( ) 人 学科の収容定員 ( ) 人 ※本人修了時
教員の資格	第 11 条	<input type="checkbox"/>	—
校舎等	第 12 条	<input type="checkbox"/>	—
教室の面積	第 14 条	<input type="checkbox"/>	—

※摘要欄には、各基準を満たすことを示すため、下線または括弧書きに数値等を記入してください。

平成 年 月 日

学校所在地  
学 校 名  
学 校 長 名

印



## 「高等学校等専攻科修了証明書」発行に係るチェックリスト

「特別支援学校の高等部の専攻科」用

証明を受ける者の氏名		生年 月日	昭和・平成 年 月 日
------------	--	----------	-------------

上記の者に対して、当機構指定の様式「高等学校等専攻科修了証明書」を発行するに当たって、「特別支援学校の高等部の専攻科のうちその課程を修了した者が大学に編入することができるものの課程の基準（平成28年文部科学省告示第64号）」に基づいて、下記の基準を確認しています。

## 記

基準	該当する規定 (告示第64号)	確認した基準の □欄に <input checked="" type="checkbox"/> 印を記入 してください。	摘要※
単位の授与	第2条	<input type="checkbox"/>	—
各授業科目の 単位数	第3条	<input type="checkbox"/>	【1単位修得に要する授業時間】 講義及び演習 _____ 時間 実験、実習及び実技 _____ 時間 その他 ( _____ ) _____ 時間
授業の方法	第4条	<input type="checkbox"/>	【教室等以外での履修の割合】 _____ %
修了要件	第5条	<input type="checkbox"/>	_____ 2年以上 _____ 単位
教員数	第6条	<input type="checkbox"/>	( ) 人うち専任 ( ) 人 学科の収容定員 ( ) 人 ※本人修了時
教員の資格	第7条	<input type="checkbox"/>	—
校舎等	第8条	<input type="checkbox"/>	—

※摘要欄には、各基準を満たすことを示すため、下線または括弧書きに数値等を記入してください。

平成 年 月 日

学校所在地

学 校 名

学 校 長 名

印



## 学位審査手数料払込用紙

払込用紙は冊子版の「学位授与申請書類」  
に綴じこまれています。

ミシン目から切り取り、手数料を添えて金融機関の窓口で払い込んでください。

払込に必要な手数料は、申請者負担となりますので注意してください。

金融機関に備付けの払込（振込）用紙、ATMは利用しないでください。

払込期間は、申請時期によって異なるので注意してください。また、申請受付期間とは違いますので、特に期限には気を付けてください。払込期間後の払込みによる申請は、受理しません。

（各金融機関によって営業日・受付時間は異なりますので、注意してください。）

4月期申請の払込期間      3月1日(木)～4月7日(土)

10月期申請の払込期間      9月1日(土)～10月5日(金)

〔お問合せ先〕

**☎042-307-1550**

受付時間 9:00~12:00 13:00~17:00 (土・日曜, 祝日, 年末年始を除く。)



独立行政法人

**大学改革支援・学位授与機構**

管理部学位審査課

〒187-8587 東京都小平市学園西町1-29-1

<http://www.niad.ac.jp/>